

平成30年度 第3回

社会教育委員の会議

- 日 時 平成31年 3月18日 (月)
午後3時00分～
- 会 場 人材かがやきセンター研修室
(中央生涯学習センター5階)

宇都宮市教育委員会

会 議 次 第

1 開 会

2 諮 問 【資料 1】

3 議 事

(1) 報告事項

- ① 平成 30 年度 放課後子ども教室の実施状況について 【資料 2】
- ② 平成 30 年度 魅力ある学校づくり地域協議会事業の実施状況について 【資料 3】
- ③ 平成 30 年度 家庭教育支援事業の実施状況について 【資料 4】
- ④ 平成 30 年度 宇都宮市民大学の実施状況について 【資料 5】
- ⑤ 平成 30 年度 人材かがやきセンター主催講座の実施状況について 【資料 6】
- ⑥ 平成 31 年宇都宮市成人式の実施状況について 【資料 7】

(2) 協議事項

- ① 平成 31 年度 社会教育行政の基本方針及び重点施策について 【資料 8】
- ② 平成 31 年度 文化行政の基本方針及び重点施策について 【資料 9】
- ③ 成年年齢引き下げに伴う宇都宮市成人式のあり方等について 【資料 10】

4 そ の 他

- ① 平成 31 年度宇都宮市立小・中学校の「土曜授業」実施予定日について 【資料 11】

5 閉 会

宇都宮市社会教育委員名簿

任期 平成29年7月1日～平成31年6月30日

No.	氏名	区分	備考
1	大川 直邦	学校教育関係者	栃木県高等学校長会宇都宮支部(宇都宮南高等学校長)
2	野宮 隆	学校教育関係者	宇都宮市中学校長会(鬼怒中学校長)
3	鈴木 恵治	学校教育関係者	宇都宮市小学校長会(清原北小学校長)
4	今井 政範	学校教育関係者	宇都宮地区幼稚園連合会会長(認定こども園さくらが丘理事長)
5	金 克彦	社会教育関係者	公益社団法人宇都宮青年会議所 直前理事長
6	櫛 淵 澄江	社会教育関係者	宇都宮市地域婦人会連絡協議会会長
7	三村 松司	社会教育関係者	宇都宮市体育協会副会長
8	松本 弘元	社会教育関係者	宇都宮市文化協会常任理事
9	山口 康夫	社会教育関係者	宇都宮市子ども会連合会会長
10	福田 治久	社会教育関係者	宇都宮市PTA連合会会長
11	高橋 勉	社会教育関係者	宇都宮市地域まちづくり推進協議会副会長
12	関口 浩	社会教育関係者	宇都宮市青少年指導員会会長
13	加藤 史子	社会教育関係者	一条中学校魅力ある学校づくり地域協議会地域コーディネーター
14	小池 操子	家庭教育関係者	宇都宮市親学習プログラム指導者
◎	15 河田 隆	学識経験者	宇都宮共和大学教授
	16 佐々木 一隆	学識経験者	宇都宮大学教授
	17 若園 雄志郎	学識経験者	宇都宮大学准教授
	18 増淵 幸男	学識経験者	上智大学名誉教授
○	19 工藤 稔行	学識経験者	市議会議員
	20 金子 武蔵	学識経験者	市議会議員

◎ 委員長
○ 副委員長

宮 教 生 第 9 5 8 号
平成 3 1 年 3 月 1 8 日

宇都宮市社会教育委員の会議委員長 様

宇都宮市教育委員会
教育長 水越 久夫

成年年齢引き下げに伴う宇都宮市成人式のあり方等について（諮問）

改正民法が 2 0 2 2 年 4 月 1 日に施行され、成年年齢が 2 0 歳から 1 8 歳に引き下げられますが、成人式の開催については、法律上の定めはなく、各地方自治体の判断で実施されるものとなっております。

つきましては、成年年齢引き下げに伴う宇都宮市成人式のあり方及び成人としての自覚を促す取組について、調査審議していただきたく諮問いたします。

平成30年度 放課後子ども教室事業の実施状況について

1 趣旨

国の「放課後子ども総合プラン」の宇都宮版として19年度から実施している「放課後子ども教室」事業の実施状況について報告するもの

2 平成30年度の実施状況

(1) 実施校区数 53小学校区

宮っ子ステーション実施校区（年度の新規実施校区数）（H31.3.1 現在）

19年度～	陽南小・陽光小（2）
20年度～	晃宝小（1）
21年度～	今泉小・富士見小・西小・御幸が原小・峰小・清原南小（6）
22年度～	東小・清原東小・陽東小・城東小・西が岡小・富屋小・上戸祭小・岡本西小（8）
23年度～	田原西小・西原小・五代小・石井小・岡本北小・明保小・平石中央小・田原小・上河内東小・雀宮中央小・豊郷南小・宝木小（12）
24年度～	新田小・豊郷北小・豊郷中央小・白沢小・横川東小・横川中央小・篠井小・御幸小・雀宮東小・姿川中央小・雀宮南小・桜小・国本中央小・横川西小（14）
25年度～	城山東・瑞穂台・緑が丘・中央（4）
26年度～	上河内中央・宮の原・海道（3）
28年度～	築瀬・岡本（2）
30年度～	城山中央（1）

(2) 各小学校区の実施状況（資料2別紙参照）

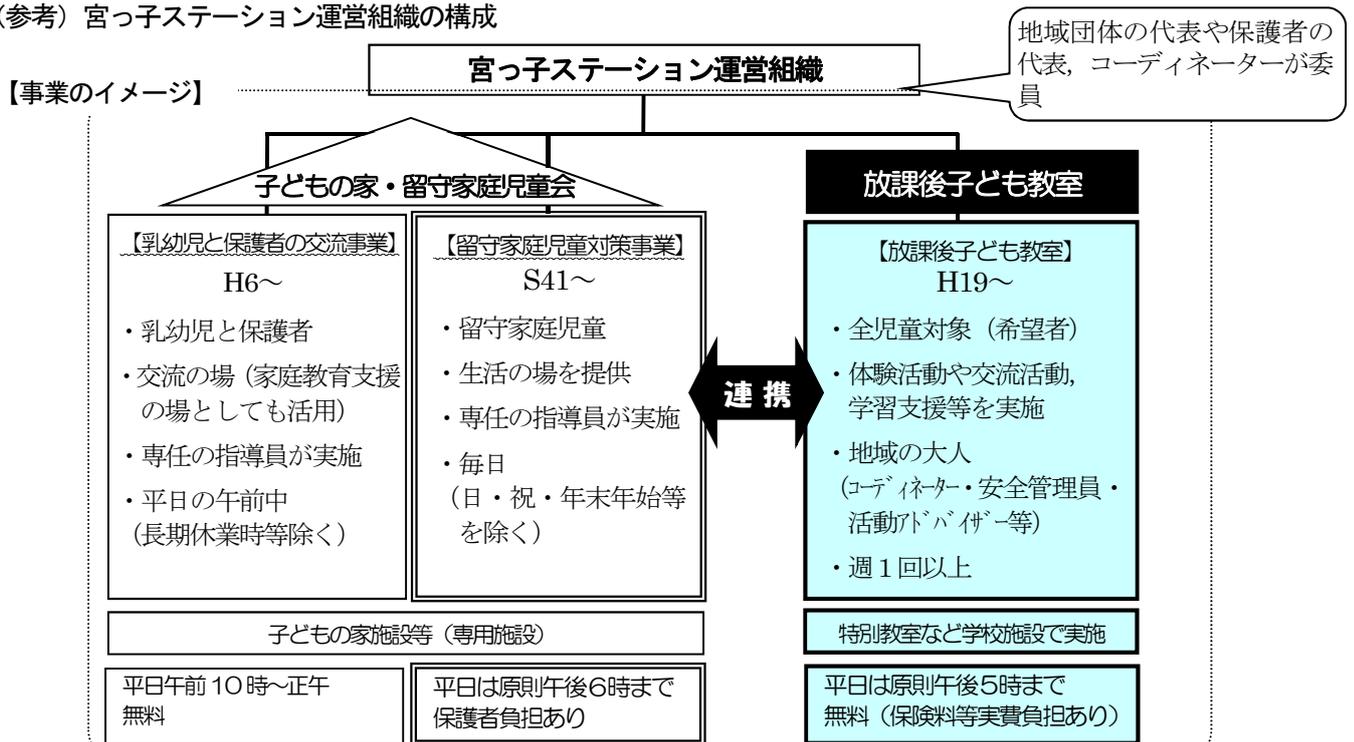
(3) 事業実施における成果

- ・ 活動への参加を通して、児童の放課後の過ごし方が充実できた。
- ・ 異年齢の児童や大人との関わりを通して、児童が社会性や生活習慣を習得することができた。
- ・ 宿題や自主学習などの活動を通して、児童の学習習慣の定着を図ることができた。
- ・ 地域の大人や大学生・中高生の参加・協力・交流を通して、地域コミュニティの活性化と地域ぐるみでの子育て意識の醸成を図ることができた。 など

(4) 課題等

- ・ 活動に参加・協力してもらえる人材の確保（コーディネーター、活動アドバイザー、安全管理員など）
- ・ 全小学校区での早期立ち上げに向けた地域の理解と協力（未実施校区＝13校区）
- ・ 事業内容の充実（活動メニューの多様化、実施回数の増加 など）

(参考) 宮っ子ステーション運営組織の構成



※運営組織は地域の代表10名以上、保護者の代表5名以上で構成

平成30年度「放課後子ども教室」実施状況（H31年3月1日現在）

資料2別紙

実施校区	陽南小			陽光小			晃見小			今泉小			富士見小					
名称	正式名称			陽南宮っ子ステーション			陽光宮っ子ステーション			晃見宮っ子ステーション			今泉宮っ子ステーション			富士見宮っ子ステーション		
	愛称			よ〜なん☆きつずベース			おひさまクラブ			ピノキオ教室			今泉わくわくステーション			-		
開始時期	平成19年7月			平成19年10月			平成20年6月			平成21年6月			平成21年7月					
主な活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> 大会議室・児童会室 体育館・校庭 音楽室 家庭科室 			<ul style="list-style-type: none"> ランチルーム・第2音楽室 校庭・体育館 家庭科室 プール 図工室 			<ul style="list-style-type: none"> 多目的室 農園 校庭・体育館 			<ul style="list-style-type: none"> 体育館 校庭 			<ul style="list-style-type: none"> 体育館 校庭 					
				<ul style="list-style-type: none"> 県総合グランド飛び込み用プール 			<ul style="list-style-type: none"> 国本地区市民センター 			<ul style="list-style-type: none"> 今泉地域コミセン 			<ul style="list-style-type: none"> 富士見地域コミセン 					
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりや生活体験 百人一首 お茶教室 バドミントン、サッカーほかスポーツ 			<ul style="list-style-type: none"> ものづくり、手芸教室 生活体験 バレーボール、野球、サッカー、グランドゴルフ、タグラグビー、バスケットボール、剣道 フラダンスほかダンス 手話 将棋 英語教室 囲碁、空手 			<ul style="list-style-type: none"> 昔遊び グランドゴルフ ものづくりや生活体験 書写 パステル画 町探検 ドッチビー 			<ul style="list-style-type: none"> ものづくりや生活体験 英会話 面白実験 グラウンドゴルフ おやつ作り 			<ul style="list-style-type: none"> ドッジボール、ユニホック、ネオホッケー ものづくりや生活体験 将棋 民話語り 百人一首 					
							※事業開始前に宿題タイムあり			※宿題タイムあり			※終了後に各自宿題を行う					
事業立ち上げ	地域まちづくり組織を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会の部会			魅力ある学校づくり地域協議会の部会			地域まちづくり組織を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会(地域まちづくり協議会含む)を中心に各種団体					
コーディネーター	安全管理員			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			PTA関係者					
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率			
	66	465	14%	235	330	71%	179	419	43%	247	624	40%	76	722	11%			
	1年生	21	79	27%	49	56	88%	47	84	56%	63	100	63%	15	108	14%		
	2年生	15	69	22%	38	50	76%	38	73	52%	80	115	70%	16	122	13%		
	3年生	23	76	30%	56	69	81%	46	65	71%	54	104	52%	21	137	15%		
	4年生	6	83	7%	42	50	84%	23	70	33%	38	110	35%	9	119	8%		
	5年生	1	78	1%	38	57	67%	21	66	32%	8	90	9%	6	128	5%		
6年生	0	80	0%	12	48	25%	4	61	7%	4	105	4%	9	108	8%			
週あたり実施回数	1回 (月曜日または金曜日)						3回 (月水金曜日)			3~4回 (主に月・水・金・土曜日)			1回 (主に金曜日)					

実施校区	西小			御幸が原小			峰小			清原南小			東小					
名称	正式名称			西宮っ子ステーション			御幸が原宮っ子ステーション			峰宮っ子ステーション			清原南宮っ子ステーション			東宮っ子ステーション		
	愛称			にじいろ教室			キラキラ			峰の寺子屋			清南げんきつず			とうこうキッズクラブ		
開始時期	平成21年7月			平成21年10月			平成22年1月			平成22年1月			平成22年4月					
主な活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> 体育館 第2音楽室 にこにこ館 ランチルーム 			<ul style="list-style-type: none"> 学習室 図工室 			<ul style="list-style-type: none"> 図書室 校庭 体育館 			<ul style="list-style-type: none"> 音楽室・生活科室 家庭科室・理科室 校庭・体育館 ランチルーム・多目的室 			<ul style="list-style-type: none"> 校庭 体育館 プール 					
							<ul style="list-style-type: none"> 峰地区コミセン 						<ul style="list-style-type: none"> 東地域コミセン 					
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ネオホッケー、ニューススポーツ 琴教室 パソコン教室 デコ工作 生け花教室 ペーゴマ遊び 料理教室 			<ul style="list-style-type: none"> 工作 手芸 楽しい理科 琴、お茶体験 スポーツ お楽しみ会 			<ul style="list-style-type: none"> 自学自習 工作教室 スポーツ教室 そろばん教室 自然体験 (田んぼへ行こう等) 理科実験、生活体験 おこと教室 			<ul style="list-style-type: none"> 生活体験 工作教室 昔遊び 読書 清原ミュージックフェスティバル参加 お泊り会 敬老会で演奏 			<ul style="list-style-type: none"> 生活体験 工作教室 昔遊び マジック教室 スポーツデリバリー お茶 水泳 					
	※中高生ボランティアの支援あり						※前半は宿題タイム			※前半は宿題タイム								
事業立ち上げ	PTA関係者を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体					
コーディネーター	PTA関係者			魅力ある学校づくり地域協議会 運営委員			魅力ある学校づくり地域協議会 会長			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター								
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率			
	103	172	60%	204	480	43%	237	471	50%	245	405	60%	96	205	47%			
	1年生	17	20	85%	20	69	29%	51	83	61%	47	59	80%	21	27	78%		
	2年生	20	29	69%	48	69	70%	52	82	63%	56	66	85%	17	35	49%		
	3年生	27	34	79%	39	68	57%	46	79	58%	50	74	68%	21	33	64%		
	4年生	17	26	65%	45	92	49%	41	75	55%	36	51	71%	16	33	48%		
	5年生	10	25	40%	29	87	33%	30	70	43%	38	81	47%	16	37	43%		
6年生	12	38	32%	23	95	24%	17	82	21%	18	74	24%	5	40	13%			
週あたり実施回数	1~2回 (月・火・木・金曜日)			2回 (月・水曜日)			4回 (月・火・金・土曜日)			5回 (月~金曜日)			2回 (水・金曜日)					

平成30年度「放課後子ども教室」実施状況（H31年3月1日現在）

実施校区	清原東小			城東小			陽東小			西が岡小			上戸祭小					
名称	正式名称	清原東宮っ子ステーション			城東宮っ子ステーション			陽東宮っ子ステーション			西が岡宮っ子ステーション			上戸祭宮っ子ステーション				
	愛称	—			—			ポパイ			—			上戸のたまご				
開始時期	平成22年6月			平成22年7月			平成22年7月			平成22年9月			平成22年9月					
主な活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> 多目的室 校庭 図書室 			<ul style="list-style-type: none"> 学習室 図工室 			<ul style="list-style-type: none"> 体育館ミーティングルーム 校庭 体育館 家庭科室 			<ul style="list-style-type: none"> 地域開放室 校庭・体育館 農園・音楽室 家庭科室 			<ul style="list-style-type: none"> 大ミーティングルーム 校庭・体育館 家庭科室・図工室 調理室 北生涯学習センター 					
	—			—			<ul style="list-style-type: none"> 陽東コミュニティセンター 			—			—					
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 宿題などの学習 外遊び 工作教室 ダンス教室 			<ul style="list-style-type: none"> 工作教室 学習支援 			<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルロケット、ジャイロ、スライム、工作教室 昔遊び、ペエゴマ ユニホック、パタンク、ドッチビー、フットサル お菓子づくり 百人一首、指編み プログラミング教室 おはやし教室 			<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルロケット、ジャイロ、スライム、工作教室 昔遊び、ペエゴマ ユニホック、パタンク、ドッチビー、フットサル お菓子づくり 百人一首、指編み プログラミング教室 おはやし教室 			<ul style="list-style-type: none"> 工作教室、手芸(季節に応じた作品づくり) 昔遊び 染色 スポーツ 調理教室 農業(野菜づくり)体験 ハイキング チャレンジランキング かかし作り 			<ul style="list-style-type: none"> 工作教室、料理教室、英語教室、フラダンス、和太鼓、ダンス、囲碁。百人一首、茶道、ネオホッケー、ソフトバレーボール、ロボット教室、室内ゲーム、テニス、映画鑑賞会、体育館であそぼう、おたのしみ会、たこあげ大会、ドッジボール 		
	※学習支援			※学習支援を実施(主に水曜日)			※活動前に学習タイムあり			—			—					
事業立ち上げ	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体					
コーディネーター	—			元PTA役員			事業コーディネーター			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			元魅力ある学校づくり地域協議会地域コーディネーター					
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率			
	35	365	10%	133	429	31%	246	508	48%	139	349	40%	220	469	47%			
	1年生	6	52	12%	34	79	43%	55	74	74%	47	70	67%	60	77	78%		
	2年生	6	42	14%	25	69	36%	48	72	67%	29	57	51%	38	67	57%		
	3年生	13	75	17%	27	68	40%	58	77	75%	24	46	52%	59	85	69%		
	4年生	3	62	5%	28	74	38%	36	88	41%	22	68	32%	32	70	46%		
	5年生	7	70	10%	12	63	19%	30	88	34%	12	50	24%	24	85	28%		
	6年生	0	64	0%	7	76	9%	19	109	17%	5	58	9%	7	85	8%		
週あたり実施回数	1回 (月曜日)			2回 (月・水曜日)			2回 (水・金曜日)			2回 (月・水・金曜日)			4～5回 (日・月・火・水・金・土曜日)					

実施校区	富屋小			岡本西小			田原西小			西原小			石井小			
名称	正式名称	富屋宮っ子ステーション			岡本西宮っ子ステーション			田原西宮っ子ステーション			西原宮っ子ステーション			石井宮っ子ステーション		
	愛称	にこにこ教室			おかにしみやっこ			田西っ子クラブ			西原こどもくらぶ			あおぞらペンギンクラブ		
開始時期	平成22年9月			平成22年9月			平成23年4月			平成23年5月			平成23年5月			
主な活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> 体育館多目的室 体育館 農園 			<ul style="list-style-type: none"> 図工室・家庭科室 体育館・校庭 菜園 ゆうすい公園 			<ul style="list-style-type: none"> 体育館 ミーティングルーム ランチルーム 			<ul style="list-style-type: none"> ランチルーム 体育館 校庭 			<ul style="list-style-type: none"> 体育館・校庭 学習室・家庭科室 ランチルーム プール 			
	<ul style="list-style-type: none"> 富屋地区市民センター 			—			—			<ul style="list-style-type: none"> 西原地区コミセン 			<ul style="list-style-type: none"> 石井地区コミセン 			
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活体験 サッカー等のスポーツ 昔遊び 料理教室 工作教室 			<ul style="list-style-type: none"> 菜園 ドッチボール、バドミントン、バレーボール、卓球 生活体験 料理教室 工作教室 			<ul style="list-style-type: none"> 生活体験 昔遊び スポーツ体験 料理教室 			<ul style="list-style-type: none"> 生活体験 工作教室 昔遊び スポーツ体験 お菓子づくり 自由あそび 			<ul style="list-style-type: none"> 群れ遊び 生活体験 パタンク 自然体験 親子活動 工作教室 カルチャー教室 			
	※前半は宿題タイム			—			—			※前半は宿題タイム			—			
事業立ち上げ	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			
コーディネーター	—			魅力ある学校づくり 地域協議会役員			魅力ある学校づくり 地域協議会の委員			—			—			
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	119	221	54%	139	516	27%	90	246	37%	123	298	41%	171	672	25%	
	1年生	19	33	58%	0	92	0%	22	36	61%	26	40	65%	63	121	52%
	2年生	13	24	54%	0	100	0%	25	37	68%	45	65	69%	41	107	38%
	3年生	28	36	78%	49	80	61%	21	42	50%	27	47	57%	32	110	29%
	4年生	23	43	53%	34	84	40%	16	38	42%	19	43	44%	30	109	28%
	5年生	20	46	43%	25	75	33%	6	42	14%	5	50	10%	5	113	4%
	6年生	16	39	41%	31	85	36%	0	51	0%	1	53	2%	0	112	0%
週あたり実施回数	2回 (月・水曜日)			1回 (月曜日)			1～2回 (火・水曜日)			1回 (水曜日)			4回 (月・水・木・金曜日)			

平成30年度「放課後子ども教室」実施状況（H31年3月1日現在）

実施校区	明保小			五代小			田原小			岡本北小			平石中央			
名称	正式名称	明保宮っ子ステーション			五代宮っ子ステーション			田原宮っ子ステーション			岡本北宮っ子ステーション			平石中央宮っ子ステーション		
	愛称	—			たのしみクラブ			くれよんきつず			北っ子教室			りんごの木		
開始時期	平成23年6月			平成23年5月			平成23年7月			平成23年6月			平成23年7月			
主な活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域開放室 ・体育館 ・校庭 ・中庭 			<ul style="list-style-type: none"> ・第2音楽室 ・体育館 ・校庭 ・図工室 			<ul style="list-style-type: none"> ・児童会室・家庭科室 ・音楽室・多目的ルーム ・体育館・プール ・図工室・中庭 			<ul style="list-style-type: none"> ・児童会室 ・体育館・校庭 ・図工室・理科室 ・音楽室・家庭科室 			<ul style="list-style-type: none"> ・ほほえみコーナー 			
				<ul style="list-style-type: none"> ・雀宮地区市民センター ・ふれあいセンター 												
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験 ・スポーツ ・集団遊び ・工作教室 ・日本文化体験 			<ul style="list-style-type: none"> ・工作教室 ・生活体験 ・スポーツ体験 ・英会話 ・将棋 			<ul style="list-style-type: none"> ・昔遊び ・自然体験 ・音楽教室 ・スポーツ ・漢字検定 ・手工芸 			<ul style="list-style-type: none"> ・昔遊び ・自然体験 ・スポーツ ・理科教室 ・音楽教室 ・工作教室 ・英語教室 			<ul style="list-style-type: none"> ・工作教室 ・読み聞かせ ・スポーツ(ドッチビー・なわとび) ・オセロ・トランプ・将棋 ・りんご屋さん(お店屋さん) 			
事業立ち上げ	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			
コーディネーター	魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			元事業コーディネーター			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			魅力ある学校づくり地域協議会 地域協議会役員			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	196	542	36%	207	685	30%	104	197	53%	167	357	47%	42	66	64%	
	1年生	42	95	44%	52	103	50%	16	25	64%	30	57	53%	5	5	100%
	2年生	39	90	43%	48	121	40%	25	35	71%	37	61	61%	8	11	73%
	3年生	48	94	51%	40	110	36%	17	27	63%	35	53	66%	12	12	100%
	4年生	34	92	37%	41	106	39%	22	38	58%	35	59	59%	8	11	73%
	5年生	18	83	22%	15	127	12%	12	33	36%	20	50	40%	7	15	47%
6年生	15	88	17%	11	118	9%	12	39	31%	10	77	13%	2	12	17%	
週あたり実施回数	1～2回 (月・水曜日)			3～4回 (月～金曜日)			3回 (火・水・木曜日)			2回 (月曜日・金曜日)			1回 (金曜日)			

実施校区	上河内東小			雀宮中央小			豊郷南小			宝木小			新田小			
名称	正式名称	上河内東宮っ子ステーション			雀宮中央宮っ子ステーション			豊郷南宮っ子ステーション			宝木宮っ子ステーション			新田宮っ子ステーション		
	愛称	ゆずっこ55			ひまわり			とよなんクラブ			—			しんでんキッズ		
開始時期	平成23年7月			平成23年9月			平成23年10月			平成23年12月			平成24年5月			
主な活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館・校庭 ・体育館ミーティングルーム ・家庭科室・パソコン室 ・礼法室・生活科室 			<ul style="list-style-type: none"> ・学習室 ・校庭・体育館 ・家庭科室・プール 			<ul style="list-style-type: none"> ・生活科室(放課後子ども教室) ・校庭・音楽室 ・家庭科室・理科室 ・図工室・プール 			<ul style="list-style-type: none"> ・第2図書室 			<ul style="list-style-type: none"> ・体育館・校庭 ・理科室・家庭科室 ・プール・図書室 ・音楽室・図工室 ・第2音楽室 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・上河内生涯学習センター 															
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・群れ遊び ・語りべ ・パソコン教室 ・お茶教室 ・料理教室 ・スポーツ体験 ・ハイキング ・社会見学 ・ミステリーツアー 			<ul style="list-style-type: none"> ・群れ遊び ・スポーツ体験 ・昔遊び ・お菓子づくり ・工作教室 			<ul style="list-style-type: none"> ・群れ遊び ・生活体験 ・スポーツ体験 ・ハイキング ・空手道 ・座禅体験 ・サイクリング 			<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験 ・文化体験 ・食育 ・料理教室 ・茶道 ・民話語り ・カルタ遊び ・リサイクル工作 			<ul style="list-style-type: none"> ・群れ遊び ・工作教室 ・手品 ・お菓子づくり ・スポーツ体験 ・親子活動 			
	※前半は宿題タイム															
事業立ち上げ	上河内まちづくり協議会役員			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			
コーディネーター	栃木協働推進員			元PTA会長			魅力ある学校づくり 地域協議会会長			魅力ある学校づくり 地域協議会役員			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	101	144	70%	36	510	7%	261	596	44%	172	649	27%	233	583	40%	
	1年生	23	27	85%	10	86	12%	54	88	61%	39	99	39%	60	99	61%
	2年生	20	25	80%	6	81	7%	78	103	76%	37	103	36%	63	94	67%
	3年生	15	20	75%	11	98	11%	50	98	51%	41	114	36%	51	93	55%
	4年生	18	21	86%	5	80	6%	43	101	43%	24	101	24%	33	105	31%
	5年生	19	23	83%	2	63	3%	27	104	26%	14	104	13%	20	103	19%
6年生	6	28	21%	2	102	2%	9	102	9%	17	128	13%	6	89	7%	
週あたり実施回数	5回 (月・水・木・金・土曜日)			1回 (水曜日)			2回 (月・水曜日)			1～2回 (水・木曜日)			1～2回 (月・水曜日)			

平成30年度「放課後子ども教室」実施状況（H31年3月1日現在）

実施校区	白沢小			豊郷北小			横川東小			豊郷中央小			横川中央小			
名称	正式名称	白沢宮っ子ステーション			豊郷北宮っ子ステーション			横川東宮っ子ステーション			豊郷中央宮っ子ステーション			横川中央宮っ子ステーション		
	愛称	白沢っ子教室			こえもん			はびねすクラブ			バンブーキッズ			キッズクラブ		
開始時期	平成24年6月			平成24年5月			平成24年6月			平成24年5月			平成24年6月			
主な活動拠点	・体育館ミーティングルーム ・体育館・校庭 ・ランチルーム			・きのこの森 ・わんぱく広場 ・多目的ルーム、ランチルーム ・体育館、校庭			・多目的室 ・校庭・体育館 ・家庭科室・理科室			・図工室 ・体育館 ・旧公民館			・多目的ホール ・体育館 ・グラウンド			
	豊郷地区市民センター・福祉プラザ															
主な内容	・群れ遊び ・文化活動(灯籠づくり) ・郡読 ・科学実験教室			・自然体験 ・群れ遊び ・昔遊び ・クラフト教室			・工作教室 ・生活体験 ・料理教室 ・ウォークラリー			・工作教室 ・漢字検定 ・スラックライン ・空手道 ・料理教室 ・浴衣の着装、マナー教室			・読み聞かせ ・工作教室 ・グラウンドゴルフ ・輪投げ ・ペーゴマ ・絵本づくり			
事業立ち上げ	魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			PTAを中心に各種団体			魅力ある学校づくり 地域協議会を中心に各種団体			
コーディネーター	元PTA副会長			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			PTA関係者			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			魅力ある学校づくり地域協議会役員			
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	130	279	47%	88	234	38%	261	852	31%	307	788	39%	114	486	23%	
	1年生	18	40	45%	0	39	0%	70	128	55%	82	136	60%	29	78	37%
	2年生	29	52	56%	32	41	78%	71	143	50%	65	137	47%	32	93	34%
	3年生	24	51	47%	26	44	59%	46	129	36%	73	133	55%	24	92	26%
	4年生	34	48	71%	10	42	24%	50	154	32%	48	135	36%	17	83	20%
	5年生	16	50	32%	11	38	29%	18	140	13%	28	124	23%	7	81	9%
6年生	9	38	24%	9	30	30%	6	158	4%	11	123	9%	5	59	8%	
週あたり実施回数	1回 (水曜日)			4回 (月・火・木・金曜日)			1回 (月曜日)			4回 (月・水・木・金曜日)			1回 (水曜日)			

実施校区	篠井小			御幸小			雀宮東小			姿川中央小			雀宮南小			
名称	正式名称	篠井宮っ子ステーション			御幸宮っ子ステーション			雀宮東宮っ子ステーション			姿川中央宮っ子ステーション			雀宮南宮っ子ステーション		
	愛称	てんとう虫キッズ			みゆきっ子クラブ			-			おにぎりクラブ			-		
開始時期	平成24年6月			平成24年7月			平成24年9月			平成24年9月			平成24年10月			
主な活動拠点	・校庭 ・体育館 ・家庭科室 ・礼法室			・家庭科室 ・ランチルーム ・体育館 ・校庭 ・第2音楽室			・図工室 ・体育館 ・校庭			・多目的ルーム ・校庭 ・体育館			・地域開放室 ・家庭科室 ・校庭 ・体育館			
	篠井市民活動センター															
主な内容	・工作教室 ・スポーツ体験 ・料理教室 ・ペーゴマ			・みゆき塾(学習支援) ・工作教室(学校を飾ろう) ・お点前体験 ・16ミリ映画鑑賞 ・出前授業(企業)			・昔遊び・かるた・すごろく ・工作教室 ・卓球 ・農園 ・輪投げ ・バルーンアート ・読み聞かせ ・語りべ ・マジック教室			・スポーツ体験 ・群れ遊び ・工作教室 ※終了後に各自宿題を行う			・将棋教室 ・工作教室 ・軽スポーツ ・料理教室 ※終了後に各自宿題を行う			
事業立ち上げ	子どもの家を中心に各種団体			子どもの家を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会 を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会 を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会 を中心に各種団体			
コーディネーター	育成会関係者						元魅力ある学校づくり 地域協議会委員			魅力ある学校づくり 地域協議会委員						
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	38	113	34%	160	427	37%	92	279	33%	155	297	52%	106	414	26%	
	1年生	7	15	47%	35	60	58%	32	54	59%	24	43	56%	32	69	46%
	2年生	12	20	60%	42	71	59%	23	46	50%	32	45	71%	37	70	53%
	3年生	8	18	44%	32	75	43%	30	49	61%	38	52	73%	18	69	26%
	4年生	4	20	20%	28	80	35%	6	54	11%	22	48	46%	15	66	23%
	5年生	4	17	24%	21	76	28%	1	42	2%	20	49	41%	0	69	0%
6年生	3	23	13%	2	65	3%	0	34	0%	19	60	32%	4	71	6%	
週あたり実施回数	2回 (水・金曜日)			2~3回 (月・水・金曜日)			1回 (水曜日)			1~2回 (月・水曜日)			3回 (月・火・水曜日)			

平成30年度「放課後子ども教室」実施状況（H31年3月1日現在）

実施校区	桜小			国本中央小			横川西小			城山東小			瑞穂台小			
名称	正式名称	桜宮つ子ステーション			国本中央宮つ子ステーション			横川西宮つ子ステーション			城山東宮つ子ステーション			瑞穂台宮つ子ステーション		
	愛称	-			たけのこクラブ			-			ドリームクラブ			-		
開始時期	平成24年10月			平成24年10月			平成25年1月			平成25年6月			平成25年6月			
主な活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動室 ・体育館 			<ul style="list-style-type: none"> ・体育館 ・ミーティングルーム ・図工室 			<ul style="list-style-type: none"> ・校庭 ・第2理科室 			<ul style="list-style-type: none"> ・体育館2階 ・体育館 ・プール ・家庭科室 ・校庭 			<ul style="list-style-type: none"> ・図工室 ・体育館 ・教室 			
	-			国本地区市民センター			-			-			-			
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ ・軽スポーツ ・プール活動 ※宿題などの学習			<ul style="list-style-type: none"> ・工作教室 ・昔遊び ・軽スポーツ ・ふるさと探検 ※宿題などの学習			<ul style="list-style-type: none"> ・もの作り ・グランドゴルフ ・英語 ・わなげ ・将棋 ・パステルアート 			<ul style="list-style-type: none"> ・工作教室 ・昔遊び ・軽スポーツ ・水泳 ・料理教室 ・生け花教室 ・年賀状 ※終了後に各自宿題を行う			<ul style="list-style-type: none"> ・工作教室 ・ドッジボール ・ボードゲーム ・スクラップブック ※宿題などの学習			
	-			-			-			-			-			
事業立ち上げ	魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			
コーディネーター	自治会選出			-			元五代宮つ子ステーション事業コーディネーター			魅力ある学校づくり地域協議会委員			PTAより選出（学校長推薦）			
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	111	305	36%	134	350	38%	77	520	15%	50	149	34%	327	698	47%	
	1年生	12	45	27%	40	59	68%	20	94	21%	7	22	32%	56	97	58%
	2年生	33	56	59%	32	50	64%	13	94	14%	12	23	52%	87	133	65%
	3年生	25	45	56%	25	53	47%	14	82	17%	9	33	27%	85	124	69%
	4年生	19	40	48%	16	62	26%	13	89	15%	9	20	45%	60	121	50%
	5年生	15	64	23%	16	58	28%	12	89	13%	10	30	33%	27	117	23%
6年生	7	55	13%	5	68	7%	5	72	7%	3	21	14%	12	106	11%	
週あたり実施回数	2回 (月・水曜日)			4回 (月・水・木・金曜日)			1～3回 (月・水・金曜日)			1回 (水曜日)			4回 (月～金曜日)			

実施校区	緑が丘小			中央小			上河内中央小			宮の原小			海道小			
名称	正式名称	緑が丘宮つ子ステーション			中央宮つ子ステーション			上河内中央宮つ子ステーション			宮の原宮つ子ステーション			海道宮つ子ステーション		
	愛称	-			-			わくわく教室			ニコPくらぶ			海道キッズ		
開始時期	平成25年7月			平成25年8月			平成26年5月			平成26年6月			平成26年6月			
主な活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし広場 ・体育館 			<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科室 ・体育館 ・音楽室 ・プール 			<ul style="list-style-type: none"> ・会議室(体育館2階) ・体育館 ・校庭 			<ul style="list-style-type: none"> ・地域開放室 ・体育館 			<ul style="list-style-type: none"> ・児童会室 ・体育館 ・校庭 ・図書室 			
	緑が丘コミセン			中央コミュニティセンター会議室			-			宮の原コミセン			-			
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・将棋 ・工作教室 ・わなげ ・茶道 ・バスケットボール ・料理 			<ul style="list-style-type: none"> ・紅茶部 ・料理 ・水泳 ・クラブ教室 ・軽スポーツ ・フラダンス ・ゴスペル ・花育 			<ul style="list-style-type: none"> ・工作教室 ・語りべ ・生け花教室 ・軽スポーツとゲーム ・おまんじゅう作り ・押し花を使ったカレンダー作り 			<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り、クリスマスイベント ・合唱、楽器体験 ・手芸 ・おやつ、そば打ち ・昔遊び ・英会話 ・フラダンス ・オカリナ、お囃子 ・空手 ・囲碁 ・和を楽しむ教室(着付、礼法) 			<ul style="list-style-type: none"> ・3B体操 ・いかだ作り ・エアロビクス ・グランドゴルフ ・絵画教室 ・工作教室 ・菜園 ・劇作り ・ひょうたん作り 			
	-			-			-			-			-			
事業立ち上げ	魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			
コーディネーター	魅力ある学校づくり地域協議会委員			-			元副校長（学校推薦）			元PTA			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			
児童数	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	
	172	467	37%	104	207	50%	66	250	26%	188	323	58%	132	203	65%	
	1年生	36	59	61%	16	32	50%	0	47	0%	30	55	55%	26	30	87%
	2年生	45	81	56%	22	39	56%	27	46	59%	32	44	73%	26	29	90%
	3年生	50	89	56%	23	36	64%	24	39	62%	42	60	70%	20	30	67%
	4年生	21	68	31%	17	30	57%	15	35	43%	42	51	82%	30	44	68%
	5年生	20	89	22%	11	29	38%	0	49	0%	20	54	37%	21	37	57%
6年生	0	81	0%	15	41	37%	0	34	0%	22	59	37%	9	33	27%	
週あたり実施回数	4回 (月・火・木・金曜日)			概ね4回 (月・火・水・金・土曜日)			1回 (水曜日)			3～5回 (月～金曜日)			2回 (木・金曜日)			

平成30年度「放課後子ども教室」実施状況（H31年3月1日現在）

実施校区		築瀬小			岡本小			城山中央小		
名称	正式名称	築瀬宮っ子ステーション			岡本宮っ子ステーション			城山中央宮っ子ステーション		
	愛称	—			岡っ子ステーション			くじら教室		
開始時期		平成28年6月			平成28年10月			平成31年1月		
主な活動拠点		<ul style="list-style-type: none"> ・教室 ・校庭 ・体育館 			<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室 ・体育館 			<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングルーム 		
主な内容		<ul style="list-style-type: none"> ・英語教室 ・折紙 ・囲碁 ・リズムダンス 			<ul style="list-style-type: none"> ・工作 ・昔遊び ・囲碁, 将棋 ・剣道 			<ul style="list-style-type: none"> ・絵手紙 ・工作 		
事業立ち上げ		魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体			魅力ある学校づくり地域協議会を中心に各種団体		
コーディネーター		魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター			魅力ある学校づくり地域協議会 元地域コーディネーター		
児童数		登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率	登録数	全校数	利用率
		134	477	28%	116	268	43%	100	248	40%
1年生		41	87	47%	21	46	46%	20	47	43%
2年生		29	77	38%	25	37	68%	20	36	56%
3年生		31	84	37%	30	48	63%	20	37	54%
4年生		21	74	28%	26	51	51%	20	47	43%
5年生		11	84	13%	13	45	29%	10	34	29%
6年生		1	71	1%	1	41	2%	10	47	21%
週あたり実施回数		1回 (月曜日)			1回 (月曜日)			2回 (月・水曜日)		

魅力ある学校づくり地域協議会事業の実施状況について

1 趣旨

「魅力ある学校づくり地域協議会」（以下「協議会」）が取り組む事業の実施状況等について報告するもの

2 事業の概要

(1) 目的

学校・家庭・地域等が一体となって、未来を拓く心豊かでたくましい宮っ子を育むために、協議会の活動を通して、地域の教育力を生かした「学校教育の充実」と地域ぐるみの子育てによる「家庭・地域の教育力向上」を図る。

《参考》 魅力ある学校づくり地域協議会について

- 学校・家庭・地域・企業が一体となって、子どもたちのために何ができるかを考え実践する組織として、全ての小中学校区に設置（93協議会）
- 各協議会においては、学校や地域の実情に応じて、以下の取組を実施
 - ① 活力ある学校づくりへの参画
 - ・ 学校運営に関する保護者や地域住民の意見を反映するための協議
 - ・ 学校教育に協力が可能な企業・事業所に関する情報提供
 - ② 地域の教育力を生かした学校教育の充実のための取組
 - ・ 学習支援に協力する地域人材のコーディネート
 - ・ 体験活動や校外活動を実施する際の協力者の募集
 - ・ 教室内外の環境整備や教材作成への連携・協力
 - ③ 地域ぐるみの児童生徒の健全育成・安全確保のための取組
 - ・ 学校・地域が一体となった、地域ぐるみのあいさつ運動の実施
 - ・ 登下校時の安全確保のための立哨、巡回パトロールの実施
 - ④ 家庭・地域の教育力向上のための取組
 - ・ 学校施設を活用した子育て講座や食育に関する講座の実施
 - ・ 子ども向けプログラムや地域フォーラム、異世代交流事業の実施

(2) これまでの経過等

- 平成 18～20 年度 全小中学校区で協議会を設置（93協議会）
- 平成 20～22 年度 文部科学省委託事業「学校支援地域本部事業」実施（53協議会）
- 平成 23 年度～ 「地域はみんなの学校づくり事業」の実施
(H25 度より「魅力ある学校づくり地域協議会活動推進事業」に改称)
- 平成 27 年度～ 委託方法の一部見直し
(支援会議を通じた委託から、各協議会への直接委託に変更)

3 平成30年度の実施状況

(1) 協議会の活動

全93協議会が地域の実情に応じた活動を実施

(2) 協議会の活動に対する支援

「魅力ある学校づくり地域協議会支援会議」を活用し、地域の実情に応じた支援を実施

ア 総合的な連絡調整を担う地域コーディネーターの養成

- ・研修会・情報交換会の実施（4回／年）
- ・「魅力ある学校づくり地域協議会活動事例集」等を活用した活動支援

イ 先進事例の情報提供

- ・「魅力ある学校づくり地域協議会通信（みりよく通信）」発行（4回／年）

ウ 協議会活動の普及啓発

- ・「魅力ある学校づくり地域協議会活性化実践事例集」を活用した活動支援
- ・周知啓発チラシ配付（保護者向けに一世帯1部配付）
- ・広報うつのみや特集掲載（6月号）、活動成果のパネル展示（4回／年）
- ・「魅力協 愉快だ 宇都宮」の愉快ロゴ入りビブスの配付

(3) 事業実施における成果

- ・地域の大人が子どもの育ちに係る活動への参加を通して、児童生徒との交流が進み、「地域ぐるみでの子育て」意識の醸成を図るとともに、地域の教育力向上に寄与することができた。
- ・地域の大人がボランティアとして、学校教育支援活動や校内環境整備活動等に参加することを通して、学校教育の充実を図ることができた。
- ・児童生徒が地域の大人との交流やふれあいを通して、「ナナメの関係」の中で、コミュニケーション能力や豊かな人間性などの「生きる力」を身につける機会の充実を図ることができた。

(4) 課題等

- ・活動参加者・協力者の人材確保（地域コーディネーターの複数配置、学校支援ボランティアの裾野拡大等）
- ・協議会活動の更なる活性化（先進事例の普及啓発、組織体制の強化等）
- ・中学校の協議会主体による放課後等の学習支援事業「地域未来塾」の導入促進
- ・各協議会における学校運営参画機能の強化
 - ⇒ 平成31年度より、「宇都宮市立学校の管理運営に関する規則」の一部改正（平成31年3月19日決定予定）により、学校長が、学校運営に関する基本的な方針等に係る協議会の意見をより尊重できるようにする。

平成30年度 家庭教育支援事業の実施状況について

◎ 趣旨

本市の人づくりにおいて重要な役割を担う家庭の教育力向上に係る事業の実施状況について報告するもの

1 基本的な考え方

子どもを育てる基本的な主体は家庭にあり、親自身が家庭や親の役割、親としての責任、子どもとのより良い関わり方などを自覚しながら、子どもの教育に取り組んでいく必要がある。こうした中、本市では、家庭の教育力向上を目指して、親としての学びを促進する「親学」を推進するとともに、地域において家庭教育支援に関する活動を行う家庭教育支援活動者の育成や支援、企業に対する意識啓発を行うなど、学校・家庭・地域・企業等と連携した家庭教育支援事業の推進に取り組んでいく。

2 平成30年度実施状況

(1) 親学出前講座の実施

目 的	学校等からの依頼で、保護者の集まる機会に、親学に関する講話等を行うことにより、保護者の家庭教育に対する意識の高揚を図り、もって家庭の教育力向上を図る。
実施期間	平成30年5月～平成31年2月
実績及び成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・実施講座数 141件、参加者数 6,466名 ・市PTA連合会や13企業等との連携講座を含め、57のプログラムを提供 ・講話やワークショップ、実技など多様な形態で実施 ・結果満足度調査（参加者アンケート） 回答数 2,748名（平成31年2月まで） とてもよかった+まあまあよかった…約93% ・主な意見 ア) ワークショップが有意義だった。 イ) 親である自分自身の心にゆとりをもつことが、より良い子育てにつながる実感した。 ウ) 他の参加者との意見交換から、子育ての悩みは自分だけではなかったと気づいた。 <p>【参考】平成29年度の実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座数126件、参加者数 5,590名 ・提供プログラム数 57 ・結果満足度調査 約96%
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から、親学出前講座において、家庭教育支援活動者との連携講座のひとつとして、乳幼児とその親を対象にした、ふれあい活動を重視した親子参加型プログラムを実施し、子どもの家等を利用している親子や子育てサークルを対象に6件実施した。

(2) うつのみや版親学と子どもの情報誌「こどもるっくる」の発行

目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな成長のために、保護者に知っておいてほしいことや学んでほしいことを伝えるとともに、親学に関する事業等を紹介する。 ・土日や長期休業中に、子どもが参加できる各種講座・イベント、ボランティア活動等に関する情報を収集または提供し、子どもたちの体験活動を推進する。
-----	---

対象者	中学校3年生までの子どもをもつ保護者と児童・生徒
発行部数	6万7千部, 12ページ(冊子型)
配布方法	保育園, 幼稚園, 小中学校, 公共施設等を通じた配布
発行	・第15号 平成30年7月発行 テーマ 「いつだってそばにいるよ ～親子のきずなの深め方～」 ・第16号 平成31年3月発行 テーマ 「親子のミカタ ～家庭教育支援活動者のご紹介～」
その他	・第15号を活用し, 親子関係の更なる充実と大切さを親子で再認識するための取組とする「親子のきずなガッチリ運動」を周知した。

(3) 家庭教育支援活動者の育成

目的	地域ぐるみで子育て中の親を支える取組の充実を図るため, 身近な地域において家庭教育支援に関するボランティアとして, きめ細かな支援を行う。
主な活動	・親学出前講座におけるファシリテーターや親子参加型講座の講師として, 子育て中の親を対象とした学びの場の提供や交流機会の促進 ・家庭教育に関する軽微な相談対応 ・子どもの家等において, 主に乳幼児をもつ親を対象とした親子講座の企画や運営補助等を行い, 親同士の交流機会の場の提供
登録者数	・家庭教育支援活動者 登録者数 27名
活動実績	・親学出前講座において, 講座のファシリテーター等として6回, 親子参加型講座講師として7回(子どもの家を会場とした親子講座2回を含む)を実施 ※講座未体験の支援者には, 実際の講座を研修(体験実習)として活用 ・子どもの家における親子講座の企画運営 ア) 陽南小子どもの家 年10回 (支援者1名) イ) 御幸が原小子どもの家 年8回 (支援者3名) ・生涯学習センター主催子育て講座の相談員(実習も兼ねる) 1件 ・情報誌「こどもるっくる」の誌面を活用した活動周知及び後期号の協働作成
その他	・平成31年度からは, 新規事業として, 従来の講座型では家庭教育が届きにくかった家庭において, 主に未就園児をもつ親を対象とし, 既に訪問支援を行っている庁内関係課との連携により, 家庭教育を「届ける支援」とする訪問型家庭教育支援を実施する。

3 今後の取組

- ・ 家庭教育に関心が低い保護者, 仕事など様々な事情により講座等に参加しづらい保護者などへの親学の推進のため, 学校等における参観日や懇談会, 就学時健康診断や入学時の保護者説明会, 企業内研修など, 保護者が多く集まる機会を活用した親学の推進に努めるとともに, 新たに実施する「届ける支援」としての訪問型家庭教育支援においても, 支援対象者や効果的な手法について検討する。
- ・ 家庭教育支援活動者の育成については, 新規に行われる訪問型支援に必要な知識等を習得する研修を追加し, 今後も地域における家庭教育支援の充実に向けた効果的かつ実践的な研修等を実施するとともに, 新規の支援活動者となる人材の確保及び育成に努める。

平成30年度 宇都宮市民大学の実施状況について

◎ 趣旨

平成30年度宇都宮市民大学(前期・後期)の実施状況について報告するもの

1 市民大学の概要

市民大学は、市民の生涯学習における高度で専門的な学習要求に応え、講座企画・運営ボランティアスタッフによる市民企画運営型の講座や市内の大学との連携による専門性の高い講座を実施する事業であり、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座であることから、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の知的好奇心を満たし、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える講座を開催する。

2 前期 合同開講式・公開講座

(1) 日 時 平成30年5月25日(金) 午後2時～午後4時

(2) 会 場 宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス 4階

(3) 内 容 ・合同開講式

・公開講座 演題 「宇都宮のまちづくり～魅力的なまちにするために～」

講師 宇都宮共和大学シティライフ学部長 教授 山島 哲夫 氏

3 前期 専門講座

No	講座名(開講数)	講師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)
1	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 悪人か?英雄か? ～見方を変えると歴史が変わる～ (全7回)	歴史研究家 高橋 昭夫 氏 栃木県立博物館 学芸部長 江田 郁夫 氏 学芸員 山本 享史 氏	5/28 ～ 7/9	(50) [146] 83	75 (90.4%)
2	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 【宇都宮共和大学連携講座】 住みやすい都市と環境を考える (全6回)	宇都宮共和大学 シティライフ学部 教授 寺内 孝夫 氏 准教授 大石 和博 氏 専任講師 西山 弘泰 氏 宇都宮共和大学 子ども生活学部 教授 桂木 奈巳 氏 講義 教授 高柳 恭子 氏 専任講師 丸橋 亮子 氏	6/1 ～ 7/6	(30) [28] 26	22 (84.6%)
3	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 中世宇都宮一族の文化力 ～「宇都宮歌壇」の成立と和歌をめぐって～ (全6回)	立正大学 文学部 教授 渡邊 裕美子 氏	6/5 ～ 7/10	(70) [71] 64	58 (90.6%)
4	II 今を読み解く現代社会コース 希望と共に生きる ～新しい知識と、生きる力と仲間たち～ (全5回)	栃木県立がんセンター病理診断科 医師 平林 かおる 氏 栃木県立がんセンター検査技術科 臨床検査技師 岡田 佑衣子 氏 臨床検査技師 枝 明日美 氏 宇都宮セントラルクリニック放射線科 医師 佐藤 俊彦 氏 済生会宇都宮病院緩和ケア科 医師 粕田 晴之 氏	6/2 ～ 6/30	(50) [49] 47	44 (93.6%)
5	II 今を読み解く現代社会コース 自然災害にどう対処する? ～多発する自然災害への備え～ (全7回)	気象庁宇都宮地方气象台 職員 株式会社下野新聞社 大田原総局長 論説委員 三浦 一久 氏 宇都宮市行政経営部危機管理課 職員 栃木県民生活部危機管理課 職員 NPO法人栃木県防災士会 理事長 稲葉 茂 氏 栃木県立博物館 学芸員 柏村 勇二 氏	6/7 ～ 7/19	(50) [30] 28	26 (92.9%)

6	Ⅲ 暮らしを彩る教養コース 慈覚大師円仁 ～その魅力を探る～ (全6回)	栃木県立博物館 名誉学芸員 千田 孝明 氏	6/8	(70)	73 (89.0%)
		國學院大學栃木短期大学 教授 酒寄 雅志 氏 大慈寺 住職 林 慶仁 氏	～ 7/20	[134] 82	
計				(320) [458] 330	298 (90.3%)

※ 修了者数は、4分の3以上の出席者

4 後期 合同開講式・公開講座

- (1) 日 時 平成30年10月25日(木) 午後2時～午後4時
(2) 会 場 帝京大学 宇都宮キャンパス 地域経済学科棟101大会議室
(3) 内 容 合同開講式
公開講座 演題 ころとからだの健康寿命～豊かな老年期を迎えるために～
講師 帝京大学医療技術学部柔道整復学科准教授 小林 恒之氏

5 後期 専門講座

No.	講座名(開講数)	講師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)
1	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 修験の世界 日光山の歴史と信仰 (全5回)	総本山 甕嶽山観音寺 代表宗家 甕岳 聖海 氏 栃木県立博物館 名誉学芸員 千田 孝明 氏	10/29 ～ 12/3	(70) [104] 84	78 (92.9%)
2	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース [Vスタッフ養成講座修了生企画講座] 大地の公園「ジオパーク」 ～地域の自然構造を知り・自然に学ぶ～ (全7回)	国立研究開発法人産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 総括研究主幹 山元 孝広 氏 栃木県立博物館 自然課主任 河野 重範 氏 那須烏山市教育委員会 文化振興課文化振興グループジオパーク推進室 総括 大鐘 智夫 氏 主任 谷口 寛明 氏 宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 准教授 清木 隆文 氏 宇都宮美術館 主任学芸員 橋本 優子 氏 認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク 理事長 矢野 正広 氏	11/1 ～ 12/13	(40) [36] 36	28 (77.8%)
3	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース 宇都宮市の近現代Ⅱ ～戦後のあゆみ～ (全7回)	宇都宮市文化財保護審議会委員 大嶽 浩良 氏 有限会社 随想舎 編集部 下田 太郎 氏	11/2 ～ 12/21	(80) [56] 50	46 (92.0%)
4	Ⅱ 今を読み解く現代社会コース 笑いの健康学 ～いつまでも笑って暮らすために～ (全7回)	NPO法人シニア大楽講師 笑い療法士 北沢 正嗣 氏 医師 松本 光正 氏 薬剤師 川上 千里 氏 笑顔ソムリエ 吉羽 咲真好 氏 漫談家 若林 一声 氏 健康管理士 藤井 敬三 氏	10/30 ～ 12/11	(50) [49] 44	37 (84.1%)
5	Ⅱ 今を読み解く現代社会コース [帝京大学連携講座] 健康寿命を延ばすにはどうする？ ～様々な分野から学ぶ～ (全6回)	帝京大学 医療技術学部柔道整復学科 教授 宮坂 卓治 氏 助教 劔持 佑起 氏 教授 川井 一廣 氏 講師 阿部 弘之 氏 助教 刈屋 遵 氏 帝京豊郷台接骨院 院長 前川 和人 氏	11/1 ～ 12/13	(40) [53] 53	48 (90.6%)

6	Ⅲ 暮らしを彩る教養コース 俳句と絵画，ふたつの道の達人「蕪村」を 学ぶ ～「蕪村」号は宇都宮から始まった～ (全7回)	筑波大学大学院 教授 清登 典子 氏 筑西市中村美術サロン 中村 兵左衛門 氏 全国水墨画美術協会・全国俳画普及協会 会長 豊島 宗七 氏 美術家 北川 健次 氏	11/2 ～ 12/2 1	(50) [78] 73	60 (82.2%)
	計			(330) [376] 340	297 (87.3%)

※ 修了者数は，4分の3以上の出席者

平成30年度 人材かがやきセンター主催講座の実施状況について

◎ 趣 旨

平成30年度人材かがやきセンター主催講座の実施状況について報告するもの

1 実施状況

- (1) 開催日時 平成30年6月1日(金)～平成31年3月21日(木)
- (2) 実施講座 13講座(全1回～全8回の講座)
- (3) 受講者数 356名(実施予定のN013講座を除く)

2 講座実績一覧

No.	講座名(開講数)	講座概要	講師	開催日	受講者数
1	宮の朝活(前期) ～話題のアレコレ 食編～ (全4回)	日頃、多忙な20～40代の働き盛り世代や大学生を対象に、早朝の時間帯を活用して魅力的な学習機会を提供する教養講座。前期は、本市に関わる「食」について多方面から学び、宇都宮の魅力を見直すほか、受講者同士の交流も図る。	①株式会社奴寿司 代表取締役 藤咲 幸生 ②宇都宮大学農学部附属農場次長 准教授 高橋 行継 ③株式会社 bis 代表取締役 越石 直子 ④東一字都宮青果株式会社 開発部 課長 中山 博之 宇都宮市中央卸売市場職員	①6/1 ②6/8 ③6/15 ④6/22	定員 40 申込者 38 受講者 38
2	非認知スキルを考える講座 ～子どもの豊かな 時間とは～ (全2回) ※A・B日程	時代の変化に対応し、生き抜く力を持ったたくましい子どもを育てるため、「非認知スキル」の重要性を知るとともに、家庭でできる「非認知スキル」の高め方について、子どもの「時間」に着目して学ぶ講座。	①元栃木県総合教育センター 幼児教育専門員 吉田 カヨ ②宇都宮大学教育学部附属幼稚園 副園長 五十嵐 市郎	A日程 ①7/3 ②7/10 B日程 ①7/4 ②7/18	定員 40 申込者 39 受講者 39
3	子どもたちに 伝えたい体験活動 (全3回)	子どもの遊びの教育的意義を理解し、自然体験活動や工作、伝承遊びなどの技術の習得を目指す研修。学んだ成果を地域活動などで発揮し、活躍できる人材の育成を目的とする。	①國學院大學栃木短期大学 教授 後藤 正人 ②宇都宮市ベエゴマ協会会長 宮のものづくり達人 坂井 楞山 ③宇都宮市冒険活動センター 指導主事 矢野 学	①7/7 ②7/14 ③7/21	定員 30 申込者 15 受講者 14
4	地域未来塾 学習支援モデル事業① 「おいで中3! 地域未来塾」 (全3回)	魅力ある学校づくり地域協議会を活用した放課後等における無料の学習支援「地域未来塾」の周知強化及び学習支援員登録者(大学生)による中学生への学習支援体験の場の創出を図るため、人材かがやきセンターを会場にモデル的に実施するトピック講座。	①宇都宮大学 学生6名 ②宇都宮大学 学生6名 ③宇都宮大学 学生7名	①8/7 ②8/8 ③8/21	定員 50 申込者 21 受講者 20
5	オトナ世代を 楽しむために (全2回)	主に40～50代を対象に、充実した前向きな生き方を目指すため、自己啓発的な内容や時事的な話題などについて、様々な切り口から学ぶ教養講座。	①作新学院大学経営学部 准教授 笠原 彰 ②野村証券株式会社 投資情報部 証券学習開発課長 田中 政広	①8/31 ②9/14	定員 30 申込者 39 受講者 35

6	講座企画・運営 ボランティアスタッフ 養成講座第一部 (全8回)	宇都宮市民大学や生涯学習センターなどにおいて、市民目線から現代の社会情勢を的確に捉え、必要とされる生涯学習講座の企画・運営を担う人材(Vスタッフ)を養成する講座。	①宇都宮大学地域連携教育センター 生涯学習部門 教授 佐々木 英和 ②～⑧市社会教育主事 ⑥株式会社新朝プレス メディア事業本部編集チーム もんみや編集長 花塚 理恵	①9/5 ②9/7 ③9/12 ④9/14 ⑤9/19 ⑥9/21 ⑦9/26 ⑧9/28	定員 12 申込者 5 受講者 5
7	Vスタッフ フォローアップ 研修 (全1回)	地域で活動しているVスタッフを対象に、今後の講座企画・運営に資する学習機会を提供するフォローアップ研修。Vスタッフ同士の連携強化や情報の共有も目的とする。	①株式会社新朝プレス メディア事業本部編集チーム もんみや編集長 花塚 理恵	①8/29	定員 62 申込者 33 受講者 33
8	地域教育指導員及び生涯学習指導員 研修 (全10回程度)	地域教育指導員と生涯学習指導員を対象に、研修を通して生涯学習の現状を把握し課題を見出すとともに、講座の企画・運営に関する知識や技術を身につけることを目的とした研修。	交流先研修においては、交流先の実施講座の講師	①5/21 ②7/2 ③8/27 ④9/10 ⑤2/7	定員 13 申込者 13 受講者 13
9	宮の朝活企画委員 運営講座 「宮の朝活(後期) ～学んで・食べて・ 登る!～」 (全3回)	前期受講者の中から企画運営委員を募り、企画から実施まで事務局と協働で運営する教養講座。今後、地域活動などにおいて活躍できる人材の発掘および育成も目的とする講座。	①株式会社ダイニングファクトリー 代表取締役社長/CEO 人見 洋二郎 ②株式会社バン・アキモト 取締役営業本部営業部長なんでも係 秋元 信彦 ③クライミングジムFLASH 代表 安間 佑一・安間 義之	①10/12 ②10/19 ③10/26	定員 30 申込者 32 受講者 32
10	地域未来塾 学習支援モデル事業② 「郊外の中学校に おける地域未来塾」 (全2回)	魅力協による放課後等の無料の学習支援「地域未来塾」の周知強化及び学習支援員登録者(大学生)による学習支援体験の場の創出を図るため、晃陽中と連携してモデル的に富屋・篠井地区市民センターで実施するトピック講座。	①宇都宮大学 学生7名 ②白鷗大学等 学生13名	①12/1 ②12/8	定員 30 申込者 40 受講者 40
11	Vスタッフ企画運営 講座 「かがやき塾」 ～ときめき大人の教 養講座～ (全2回)	Vスタッフ養成講座の第二部実習として、養成講座受講者が企画・運営を行う人材かがやきセンター版市民企画運営講座。	①元鳥取大学院・元作新学院大学 教授 森下 喜一 ②栃木放送 フリーアナウンサー 高瀬 美子	①1/30 ②2/6	定員 40 申込者 46 受講者 43
12	地域教育指導員・ 生涯学習指導員合 同企画運営講座 「楽しく学べる子育て ファミリー防災教室」 (全1回)	災害時に地域や避難所において子どもや弱者に寄り添い、活かせる知識を身につけるため、子育て中でも無理なくできる、日常で役立つ防災の知恵や工夫を学ぶ講座。	①座間市危機管理課子育て世代の 防災対策事業アドバイザー・ アウトドア防災ガイド あんどろ りす	①2/7	定員 30 申込者 44 受講者 44
13	親学スペシャル 「聴くだけで子育て が楽しくなる話～上 手な子どものほめ 方・しかり方～」 (全1回)	著名な専門家を講師に迎え、講話及び事例等を通して子どもとの接し方や親としてのあり方などの理解を深める家庭教育支援講座。	①子どもコンサルタント 原坂 一郎	①3/21	定員 100 申込者 未定 受講者 未定

平成 31 年宇都宮市成人式について（実施状況報告）

◎ 趣 旨

平成 31 年宇都宮市成人式の実施状況について報告するもの

1 開催日時及び会場

平成 31 年 1 月 13 日（日） ホテル・結婚式場等 9 施設、25 中学校区会場で実施

・午前開催（10:00～12:00）

14 会場／旭・陽南・星が丘・陽東・宮の原・瑞穂野・豊郷・晃陽・姿川・雀宮・

鬼怒・上河内・古里・河内中学校区会場

・午後開催（14:00～16:00）

11 会場／一条・陽北・陽西・泉が丘・清原・横川・国本・城山・宝木・若松原・

田原中学校区会場

（1）式典（約 20 分）

「激励のことば」 市長又は市長ビデオメッセージ

「お祝いのことば」市議会議長・議長代理

「誓いのことば」新成人代表者 など

（2）地域交流事業（式典終了後～） 別紙参照

2 該当者

平成 10 年 4 月 2 日～平成 11 年 4 月 1 日の間に生まれた本市住民基本台帳に登載されている者

※ただし、本市出身者で市外に転出した等特別な事情が認められる者も対象とする。

3 出席状況

	平成 31 年（今回）			平成 30 年
	男	女	合計	合計
該当者数※	2, 889 人	2, 617 人	5, 506 人	5, 429 人
出席者数	2, 010 人	1, 985 人	3, 995 人	4, 020 人
出席率	69. 6%	75. 9%	72. 6%	74. 0%

※該当者数…住民基本台帳掲載の該当者に「市外在住で本市成人式に参加を希望する者」を加えた数

4 平成31年宇都宮市成人式の実施状況

- 成人式の運営は円滑に執り行われ、新成人が旧友や恩師と交流を深める機会となっていた。
 - 各会場では、新成人が実施委員会委員として成人式の企画・運営に携わり、当日の司会進行を新成人が行うことで、他の新成人の参加意識を高めることができた。
 - 本市が進めている地域教育の視点を踏まえ、新成人が地域の人から学び、地域へつながることができるよう、各会場において本市や地域の特性を活かした事業（地域の特産物の提供、現中学生による「よさこい」披露など）を実施した。
 - 新成人の「地域社会の一員としての自覚を育む」ことを目的に、文星芸術大学との連携により、在籍する新成人がデザインした成人式プログラムを作成した。
 - 昨年に引き続き、新成人が地域全体から応援されていることを自覚し、郷土愛を育むきっかけづくりをするため、地域の協賛団体・企業等の名称を掲載した「新成人応援ポスター」を各会場に掲示したほか、案内状・プログラムにも企業等名を掲載した。
 - ・各地域での協賛団体・企業等
513団体・企業等（前年度 472団体・企業等）
 - ・成人式案内状への広告協賛 1社
 - ・成人式プログラムへの広告協賛 7社
- ※ご協力いただいた団体等の名称については、市のホームページにも、掲載している。

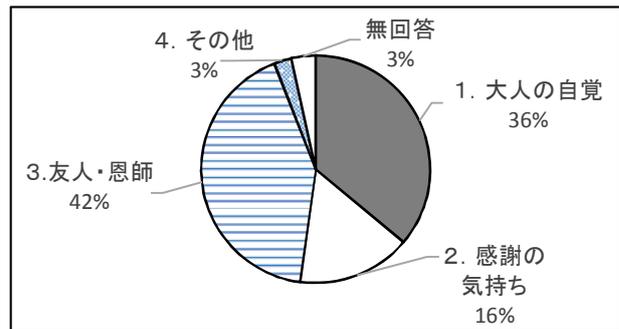
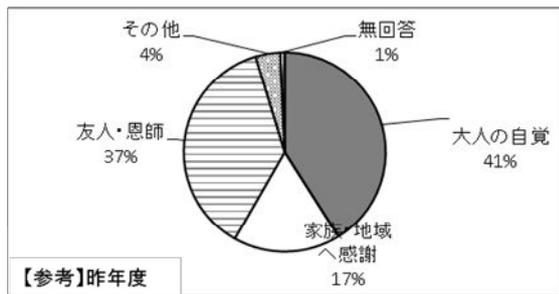
5 今後の成人式について

- ・新成人を対象に実施したアンケート結果や実施委員会の意見等を踏まえながら、事業を検証するとともに、民法改正による成年年齢の引下げに伴う成人式のあり方検討など、今後の成人式がより充実した事業となるよう努めていく。

平成31年成人式アンケート集計表(新成人)

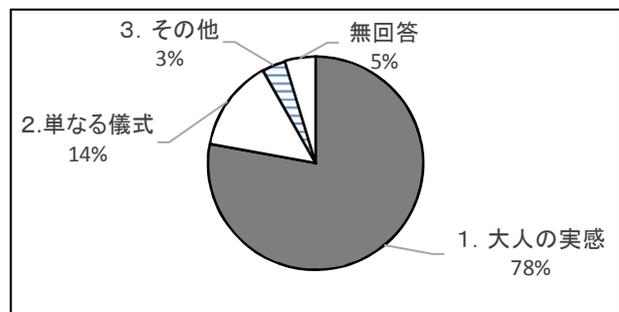
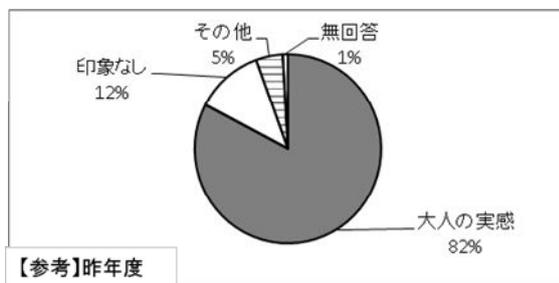
Q 本日どのような気持ちで成人式に臨みましたか？

選択肢	計	
1. 人生の節目を迎え, 大人になった自覚を持ちたい	391	36.1%
2. これまで育ててくれた家族や地域に感謝の気持ちを持ちたい	175	16.1%
3. 友人・恩師に会いたい	454	41.9%
4. その他	27	2.5%
無回答	37	3.4%
合計	1084	100.0%



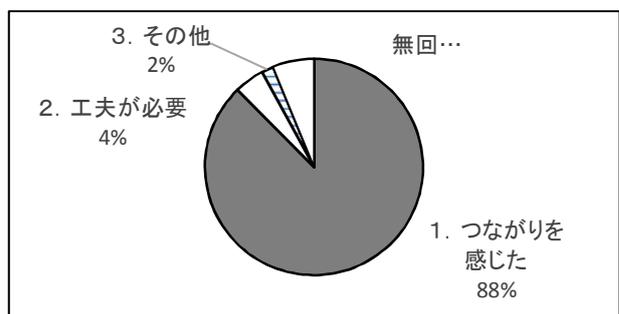
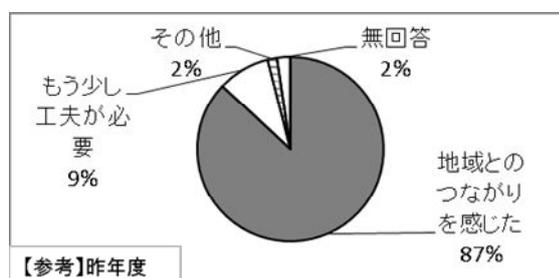
Q 成人式に出席してどのように感じましたか？

選択肢	計	
1. 大人になったことを実感でき, 意義あるものだった	841	77.9%
2. 単なる儀式としか感じられず, 印象に残らなかった	151	14.0%
3. その他	38	3.5%
無回答	50	4.6%
合計	1080	100.0%



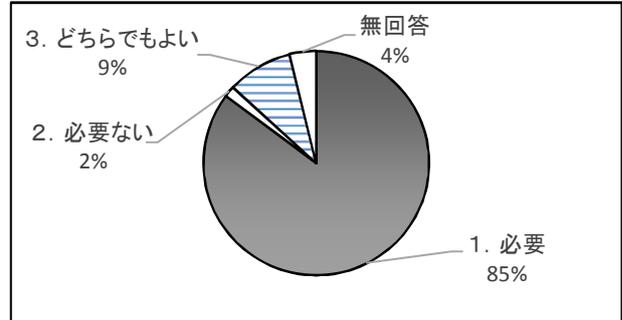
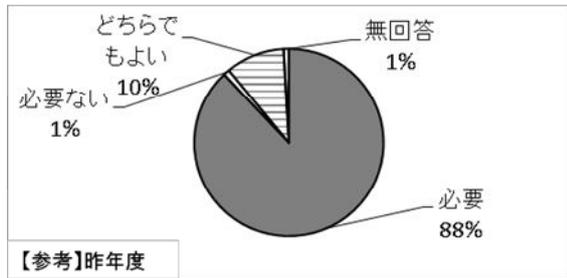
Q 地域交流事業(懇談会と地域の特性を活かした事業)はいかがでしたか？

選択肢	計	
1. 地域とのつながりや, 感謝の気持ちなどを改めて感じられる内容だった	950	87.6%
2. 特に地域とのつながりなどは感じられず, もう少し工夫が必要であると感じた	48	4.4%
3. その他	19	1.8%
無回答	67	6.2%
合計	1084	100.0%



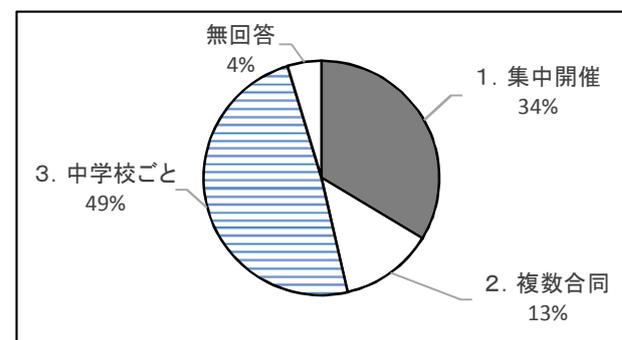
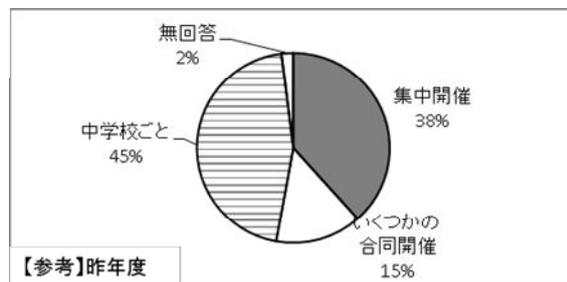
Q 成人式は今後も必要だと思いますか？

選択肢	計	
1. 必要	924	85.2%
2. 必要ない	17	1.6%
3. どちらでもよい	102	9.4%
無回答	41	3.8%
合計	1084	100.0%



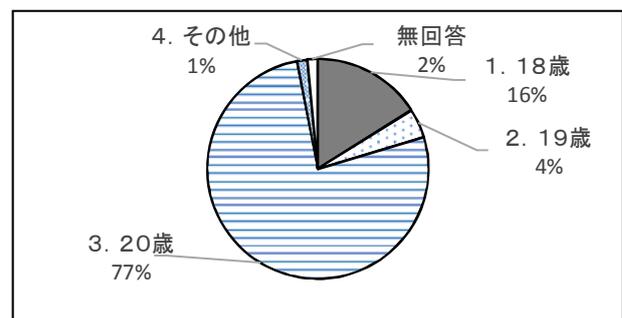
Q 現在、成人式は市立中学校区ごとの会場で実施していますが、今後どのような方式がよいと思いますか？

選択肢	計	
1. 全市内1か所(市文化会館など)での集中開催がよい	365	33.6%
2. いくつかの中学校の合同開催でもよい	139	12.8%
3. 現在と同じく中学校ごとの開催がよい	531	48.9%
無回答	50	4.6%
合計	1085	100.0%



Q 2022年4月から18歳で成人となりますが、あなたが一番成人式に出席しやすい年齢は何歳ですか？

選択肢	計	
1. 18歳	149	16.0%
2. 19歳	40	4.3%
3. 20歳	713	76.7%
4. その他	14	1.5%
無回答	14	1.5%
合計	930	100.0%



平成31年宇都宮市成人式 新成人の参加状況・地域交流事業内容について

資料7別紙

校 区	成人式会場	担当	出席者数	司会進行		誓いのことば		その他		計	主な地域交流事業内容等
				男	女	男	女	男	女		
一条	護国会館	中央	111	1	1	1	1	地域交流事業司会1 お礼のことば1	地域交流事業司会1 お礼のことば1	8	懇談、記念写真撮影、恩師祝辞、恩師へ花束贈呈、新成人代表から地域の方々へお礼のことば、中学時の「思い出のスライド」DVDを鑑賞、一条中学校に関するクイズを行い、高得点テーブルの代表者による、中学校2年生の時に書いた「20歳の自分へ」手紙読上げ。
陽北	ホテル東日本宇都宮	中央	175	1	2	1	1	地域交流事業司会2 お礼のことば1	地域交流事業司会1 お礼のことば1	10	懇談、記念写真撮影、恩師祝辞、恩師へ花束贈呈、新成人代表から地域の方々へお礼のことば、抽選会。
旭	護国会館	中央	134	1	2	1	1	地域交流事業司会1 お礼のことば1	地域交流事業司会1 お礼のことば1	9	懇談、記念写真撮影、恩師へ花束贈呈、新成人代表から地域の方々へお礼のことば、新成人代表による20歳の抱負。
陽南	宇都宮東武ホテルグランデ	南	237	1	1	1	1	閉式のことば1 お礼のことば2	閉式のことば1 お礼のことば1	9	恩師祝辞、恩師へ花束贈呈、5年後の自分への手紙配布、フリートーク、DVD上映(スライドショー)、新成人から地域の方々へお礼のことば。
陽西	宇都宮グランドホテル	西	347	2	2	1	1	来賓受付1 お礼のことば1 新成人受付2 地域交流事業企画3	来賓受付1 お礼のことば1 新成人受付2 地域交流事業企画1	18	懇談会、写真撮影、中学校時代の思い出DVD上映、地域へのお礼のことば披露、お礼の言葉メッセージカード進呈、新成人の出生時・中学卒業時10大ニュースパネル掲示、くじ引き大会。
星が丘	宇都宮東武ホテルグランデ	北	210	1	1	1	1	感謝のことば 2	来賓誘導案内 5	11	クラス記念写真撮影、DVD上映(スライドショー)、恩師への花束贈呈と恩師からの一言、新成人代表から地域の方々及び恩師への感謝のことば。
陽東	ホテルニューイタヤ	東	287	1	1	1	1	受付2 お礼の言葉1	受付4	11	恩師への花束贈呈、記念写真撮影、恩師からの祝辞、新成人代表者から地域の方々へのお礼の言葉。
泉が丘	ホテルニューイタヤ	東	175	1	1	1	1	受付 3 お礼のことば 1	受付 1	9	恩師への花束贈呈、記念写真撮影、新成人作成したDVD上映、恩師からの祝辞、新成人から地域の方々へお礼のことば。
宮の原	宇都宮グランドホテル	西	182	2	2	1	1	お礼のことば1	来賓受付2 お礼のことば1	8	懇談会、写真撮影、中学校時代のDVD上映、恩師祝辞、地域へのお礼のことば、新成人の出生時・中学卒業時10大ニュースパネル掲示、くじ引き大会、中学校校歌斉唱、現中学校生のよさこい披露、恩師へ花束贈呈。
清原	ホテルマイステイズ宇都宮	清原	206	1	1	1	1	地域交流事業司会1 受付1、DVD1	地域交流事業司会1 お礼のことば2、礼状1、 受付3、DVD2	16	実施委員長あいさつ、新成人代表から地域の方々へお礼のことば、記念写真撮影、中学時代の「思い出のアルバム」上映、恩師へ花束贈呈、恩師祝辞、地元農産物(梨ジュース、プリン)の提供、新成人による協賛者への礼状作成。
横川	ヴィラドウインターパーク	横川	141	1	1	1	1	地域交流事業司会1 お礼のことば1 閉式のことば1 終了のあいさつ1	閉式のことば1 地位交流事業司会1 誓いのことば1 お礼のことば1	10	地域の方々へお礼の言葉、恩師との記念写真撮影、新成人作成DVD上映、地元畜産物(宇都宮牛ローストビーフ)の提供、恩師からのお祝いの言葉、恩師への花束贈呈、終了のあいさつ
瑞穂野	宇都宮グランドホテル	瑞穂野	64	0	2	0	2	お礼のことば2 地域交流事業司会 地域交流事業抽選会2	お礼のことば2 地域交流事業司会2 地域交流事業抽選会6	8	地域の方々へお礼のことば、記念写真撮影、恩師祝辞、「20歳へのメッセージ」(小6の時に書いた自分へのメッセージ)の配布・発表、抽選会、スナップ写真を後日センターロビーに掲示。
豊郷	ホテル東日本宇都宮	豊郷	180	0	2	1	1	乾杯1 感謝のことば1 地域交流事業司会2		8	懇談、クラス別記念写真・スナップ写真撮影、新成人作成のDVD上映、恩師からのメッセージ、恩師への花束贈呈、キラキラCM上映、新成人代表から地域の方々へお礼のことば。
国本	ホテル東日本宇都宮	国本	93	1	1	1	1	地域交流事業1	地域交流事業1 お礼のことば1	7	新成人代表からお礼のことば、スライドショー上映、恩師への花束贈呈、記念撮影、恩師からお祝いのことば。
城山	コンセーレ	城山	90	1	1	1	1	誓いの言葉1、お礼の言葉 1、受付4	誓いの言葉1、受付4	15	記念写真撮影、中学当時の思い出のDVD上映、恩師への花束贈呈、恩師からの言葉、城山中学校校歌斉唱。
晃陽	ホテル丸治	篠井・富屋	92	1	1	1	1	開式・閉式のことば1 乾杯1・地域交流事業進行1	お礼のことば1 地域交流事業進行1	9	お恩師からのお祝いのことば・恩師への花束贈呈・記念撮影・中学時代のDVDの上映・ビンゴゲーム・感謝の言葉・メッセージカードの記入・記念品配布。
姿川	コンセーレ	姿川	172	1	1	1	0		お礼のことば1	4	クラス別記念撮影及びスナップ写真(DVD配布)・懇談会、恩師からのメッセージ、恩師へメッセージ色紙・花束贈呈、新成人代表から地域の方々へお礼のことば。校歌斉唱、卒業アルバム画像映写。
雀宮	ホテルニューイタヤ	雀宮	169	1	1	1	1	開式のことば 1 地域交流事業司会 1 地域交流事業補助1 感謝の言葉 1 お礼のことば1	閉式のことば 1 地域交流事業司会 1 地域交流事業補助 1 感謝の言葉 1 お礼のことば1	12	恩師への花束贈呈、恩師からのメッセージ、恩師との懇談、記念写真(クラス別集合写真)撮影、中学時代のスライドショー、抽選会、新成人代表から地域の方々へお礼のことば、記念品配布。
鬼怒	ホテルマイステイズ宇都宮	平石	210	1	1	1	1	地域交流事業司会1 乾杯1 受付1	地域交流事業司会1 乾杯1 受付1	24	各クラスごとに記念撮影し写真を鬼怒中学校成人式のホームページに掲載、新成人代表から地域の方々へお礼のことば、鬼怒中学校先生ビンゴ、恩師からのお祝いのことばと花束贈呈。
宝木	宇都宮東武ホテルグランデ	北	219	0	2	0	2	感謝のことば 1	来賓誘導案内 2 感謝のことば 1	8	クラス記念写真撮影、DVD上映(当時の写真等)、恩師への花束贈呈と恩師からの一言、新成人代表から地域の方々及び恩師への感謝のことば。
若松原	宇都宮東武ホテルグランデ	南	187	1	1	1	1	開式の言葉1	閉式のことば1	6	恩師から祝辞、思い出のスライドショー、恩師へ花束贈呈、新成人から地域の方々へお礼のことば、クラス別記念撮影会。
上河内	ホテルマイステイズ宇都宮	上河内	71	1	1	1	1	乾杯1 お礼のことば1	乾杯1	7	恩師からのお祝いのことば、恩師への花束贈呈、各クラスごとの記念撮影、新成人製作の思い出のDVDスライドショー放映。
古里	ホテル東日本宇都宮	河内	93	1	1	1	1	地域交流事業司会1 お礼のことば1 受付4	地域交流事業司会1 お礼のことば1 受付3	15	新成人代表から地域の方々へお礼のことば、各クラスごとの記念写真撮影、恩師からのお祝いのことば、恩師への花束贈呈。
田原	ホテル東日本宇都宮	河内	83	0	2	1	1	地域交流事業司会1 お礼のことば1 受付2	地域交流事業司会1 お礼のことば1 受付3	13	新成人代表から地域の方々へお礼のことば、『カクテルの街・宇都宮』として、カクテル(ノンアルコール)で乾杯、各クラスごとの記念写真撮影、恩師からのお祝いのことば、恩師への花束贈呈。
河内	ホテル東日本宇都宮	河内	67	1	1	1	1	地域交流事業司会1 お礼のことば1 受付3	地域交流事業司会1 お礼のことば1 受付3	14	新成人代表から地域の方々へお礼のことば、各クラスごとの記念写真撮影、恩師からのお祝いのことば、恩師への花束贈呈。
合 計			3,995	23	33	23	26			269	←兼務を含む

平成 31（2019）年度 社会教育行政の基本方針及び重点施策について

◎ 趣旨

平成 31（2019）年度における社会教育行政の基本方針及び重点施策について協議するもの

1 基本方針

本市を取り巻く社会環境の変化は、人口減少、少子・超高齢化の進行、地域コミュニティの変容、情報通信技術（ICT）の劇的な進化、グローバル化の一層の進展、貧困と格差の拡大、人々の価値観の多様化など多岐にわたっている。このような変化の中において、一人ひとりが生涯にわたって活躍し、豊かで安心して暮らせる社会を実現するためには、地域の課題解決を目指し、多様な人々と協働しながら、新たな価値を創造することができる人材を育成し、社会の活力を維持・向上させていくことが重要である。

こうしたことから、「第 3 次宇都宮市地域教育推進計画」に基づき、「学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により一人ひとりが活躍する社会を実現する。」を基本理念に、様々な課題に対応した学習機会の拡大を図る「今日的課題に対応した取組」や、持続可能な放課後児童の健全育成への取組、家庭を取り巻く環境の変化に対応した「きめ細かな家庭教育支援」、次代の地域の担い手である子どもと大人が交流し、地域の教育力を高める「地域ぐるみの教育活動の充実」に取り組んでいく。

2 重点施策

(1) 人間力を高める主体的な学習活動の推進に資する施策

様々な社会環境の変化によって、求められる能力も変化している社会において、個人が生涯を通して生きがいを持って活躍していくためには、一人ひとりが積極的に学び続け、必要とされる知識や技術を身につけていくことが重要であることから、市民一人ひとりの人間力を高める主体的な学習活動を推進する。

- ・ ICTを活用した学習機会の提供や ICTの活用に関する学習の提供
- ・ 社会の変化に対応するための、社会人や高齢者の学び直しの機会の拡充
- ・ 高齢や障がい、経済的・家庭的な困難など、様々な困難を有する人の学習活動の支援
- ・ 「第 2 次宇都宮市読書活動推進計画」に基づく、ニーズを捉えた読書機会提供の充実

(2) 家庭・地域の教育力の向上に資する施策

地域における人と人とのつながりや連帯感、支えあいの意識が希薄化し、家庭・地域の教育力や地域コミュニティ機能の低下が懸念される中、地域社会が発展していくためには、個人の学習はもとより、個人が属する家庭をはじめ、地域で活動する各主体が連帯感を創出し、身近な地域コミュニティを活性化することが重要であることから、地域の人々が子どもを育む教育活動を通じて交流し、子どもも大人も、地域全体で学び合い育ち合う教育活動を推進し、家庭・地域の教育力の向上を図る。

- ・ 「宮っ子ステーション事業」の充実による、地域ぐるみの子育ての推進
- ・ 子ども・子育て支援新制度の影響や社会情勢の変化に対応した、子どもの家等事業の新たな仕組み構築に向けた準備
- ・ 家庭教育に必要な知識の習得と意識の高揚を図る、草の根的な「親学」の推進
- ・ 家庭教育に関する情報を届ける支援「訪問型家庭教育支援事業」の推進
- ・ 「魅力ある学校づくり地域協議会」による学習支援活動（地域未来塾）の促進

(3) 学んだ成果を生かした活動の推進に資する施策

社会環境がめまぐるしく変化し、人々の価値観やニーズも多様化していく社会において、地域課題の解決や地域社会の活性化などの取組を促進するためには、誰もが学びを通して身につけた知識や技術を生かし社会参画する「学習と活動の循環」が重要であることから、多様な主体と人々がつながることで社会参画のきっかけを作り、学んだ成果を生かした様々な場面での活動を推進する。

- ・ 多様な主体と連携した学習機会の提供による、人々がつながるきっかけの創出
- ・ 市民が培った知識や経験を生かした、地域の学習活動を支える人材の育成
- ・ 地域づくりの取組のきっかけとなる、地域の歴史や文化等の学習を通じた郷土愛や住民意識醸成の取組の推進

平成 31（2019）年度 文化行政の基本方針及び重点施策について

◎ 趣旨

平成 31（2019）年度における文化行政の基本方針及び重点施策について協議するもの

1 基本方針

市民の皆さんが身近にある文化に気付き、郷土に対する誇りや愛着を感じることができるよう、基本理念を「くらしの中に文化が息づくまち宇都宮～豊かな文化を感じ、未来につながる～」とし、総合的かつ効果的に施策を推進し、「第 6 次宇都宮市総合計画」に掲げる政策の柱「魅力創造・交流の未来都市」の実現を目指す。

平成 31（2019）年度は、特に「宇都宮市歴史文化基本構想」や日本遺産に認定された「大谷石文化」を通じた本市の特色ある歴史文化資源の周知啓発や情報発信等に積極的に取り組むほか、「宇都宮市民芸術祭」40 周年の節目における記念事業を開催し、これまで培ってきた本市の文化力の集大成を披露するとともに、新しい時代を見据えた文化芸術の創造の契機とする。

2 重点施策

(1) 文化を身近に感じ、活動できる環境づくりの推進

市民が日々のくらしに文化を取り入れやすくするため、文化芸術に触れる場や発表・活動ができる環境を充実するとともに、情報発信機能の充実など様々な文化情報を得やすい環境を整備することにより、市民が文化を身近に感じ、気軽に活動できる環境づくりを推進する。

- ・ 「宇都宮市民芸術祭 40 周年記念事業」として、「新時代の扉を開く わたしたちが創るアートの 1 ページ」のスローガンのもと、本市ゆかりの文化資源である「百人一首」をモチーフとした記念公演の開催や、市民が気軽に参加できる様々なワークショップの展開、市内教育機関と連携して新たにメディア芸術事業などを実施
- ・ 市文化会館において「東京フィルハーモニー交響楽団演奏会」や「劇団四季公演」など幅広い舞台芸術事業を実施するほか、地区市民センターに出向き「出前寄席」を開催
- ・ 宇都宮美術館において、作品収集方針の特徴であるデザインに繋がるグラフィック・デザイナー「勝井三雄」展や、ヨーロッパ大貴族の華麗な宮廷生活を再現する「リヒテンシュタイン」展などを開催

(2) 文化をつなぐ人材の育成の推進

文化を創造・継承する人材を持続的に育成していくため、文化を先導する人材や担い手の育成のほか、地域で育まれた伝統や生活文化を守り・伝える団体の育成・支援を進めることにより、文化をつなぐ人材の育成を推進する。

- ・ 子どもたちが伝統文化や芸術に触れる機会を創出するため「宮っ子伝統文化体験教室」や「ふれあい文化教室」、「宇都宮美術館訪問鑑賞事業」を開催

- ・ 本市固有の伝統文化を市民が主体的に守り次世代に継承するため、「宇都宮伝統文化連絡協議会」と連携して「伝統文化フェスティバル」など伝統文化継承事業を実施
- ・ 地域の文化を守り伝える文化財保存団体や文化財ボランティア協議会等の支援を推進

(3) 宇都宮文化の創造・継承の推進

市民が宇都宮の歴史や文化を知り、理解を深めるとともに、郷土への誇りや愛着を醸成するため、地域の歴史文化に関する把握・整理や調査研究を進め、その評価及び再評価を行うとともに、保存・活用や情報発信、普及啓発を図ることにより、宇都宮文化の創造・継承を推進する。

- ・ 「歴史文化基本構想」で設定した「中世宇都宮氏」や「交流都市宇都宮」など本市の歴史の特色や魅力をまとめた8つのストーリーを市民や来訪者に分かりやすく伝えるため、映像資料の作成やQRコード等を活用した文化財の周遊サインを整備
- ・ 地域において大切に守り引き継がれてきた歴史文化資源を、市民共有の財産として保存・活用を図るため「(仮称)宇都宮市民遺産制度」の創設に向け検討
- ・ 日本遺産に認定された「大谷石文化」の魅力を伝えるため、情報発信などPR事業やシンポジウムを開催、ガイド養成に向けた講座の開催や文化財の案内板等を整備
- ・ 大谷地域の貴重な景観について、国の重要文化的景観選定に向けた保存計画を策定
- ・ 県道拡幅工事に伴う旧大谷公会堂(国登録文化財)の保存に向け、大谷地域全体の振興方針を踏まえた移築先の選定や活用方策の検討及び事業化を推進
- ・ 上神主・茂原官衙遺跡(国指定史跡)及び多気城跡の保存活用に向け、調査研究や周知啓発事業を実施

(4) 文化を活用したまちづくりの推進

歴史や文化の持つ価値や魅力を地域の活性化や絆づくりに生かしていくため、本市にゆかりのある歴史文化資源を活かした普及啓発や情報発信などに取り組むことにより、文化を活用したまちづくりを推進する。

- ・ 本市の文化資源である「百人一首」を活かしたまちづくりを推進するため、「百人一首市民大会」「蓮生記念全国競技かるた宇都宮大会」の開催や普及啓発事業を実施
- ・ 本市の文化資源である「ジャズ」を活かしたまちづくりを推進するため、「学校普及ジャズ」や「ふれあいジャズセミナー」など普及啓発事業を実施
- ・ 全国的にも稀有な「うつのみや妖精ミュージアム」において、妖精資料を活用した企画展やワークショップ等を実施
- ・ 本市の歴史文化の価値や魅力に気付き理解を深めるため、学校や地域への出前授業・講座や、生涯学習センター等において地域の歴史文化を学ぶ講座を実施

成年年齢引き下げに伴う宇都宮市成人式のあり方等の検討について

○ 趣旨

成年年齢引き下げに伴う、本市成人式のあり方等について協議するもの

1 現状と課題

<現状>

- 本市成人式は、現在、20歳を迎えた新成人の門出を全市をあげて祝い励ますとともに、参加した新成人の「地域社会の一員としての自覚」や「地域に育てられたことへの感謝の気持ち」を育むことを目的として、20歳を対象に、毎年1月の第2日曜日（「成人の日」の前日）に、25中学校区毎に新成人や地域団体による実施委員会※を組織し、市内のホテル・結婚式場で開催している。

※実施委員会について

⇒当該中学校区内の新成人及び社会教育関係団体構成員等（婦人会、青少年育成会、PTA、スポーツ推進委員、体育協会等）の20名程度で構成され、成人式の企画、運営を行う組織。

- 本市の新成人アンケートでは、参加した感想として、およそ8割が「大人になったことを実感でき、意義あるものだった」と回答しており、本市成人式開催の目的は概ね達成できている。
- 民法改正により、2022年4月1日から、成年年齢が現行の20歳から18歳に引き下げられる。[資料10参考1](#)
- 国の「成年年齢引き下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議」では、成人式の時期や在り方について、2019年度中に関係者の意見や各自治体の状況をとりまとめ、2020年度以降に各自治体への情報提供を予定している。
- 本市の新成人アンケートやPTAとの意見交換、国のヒアリング等においては、20歳を対象とし実施することを望む声が多数を占める。[資料10参考2](#) [資料10参考3](#)
- 逗子市、京都市、高松市、蕨市、栃木市等は既に20歳を対象とした実施を公表（18歳を対象とすることを公表している自治体はない。）
- 成人式に着用する晴れ着購入等の準備は、早い方では2年前に開始する。

<課題>

- 成人式の対象とする年齢については、対象者や保護者、関係機関等への影響が大きいため、早期に決定し周知する必要がある。
- 本市成人式のこれまでの成果を踏まえ、成年年齢引き下げ後も、教育的意義のある成人式とするためのあり方を検討する必要がある。
- 民法改正の趣旨を踏まえ、成年となる18歳に対しては、「成年したことへの自覚」や「責任ある立場で積極的な社会参加」を促す取組が必要である。

2 あり方検討の基本的な考え方

- 当事者となる高校生等の若者へアンケート等を行うほか、保護者や関係機関とのヒアリング、庁内関係課や生涯学習センター運営審議会からの意見を踏まえながら、本市成人式に多くの若者が参加し、「地域社会の一員としての自覚」や「地域に育てられたことへの感謝の気持ち」を持てるようになるなど、成人教育の第一歩として教育的意義のある成人式とするための方策を検討する。

3 あり方の検討事項

- ・ 対象年齢について
- ・ 開催方法・内容について
- ・ 成人としての自覚を促す取組について

4 検討スケジュール（案）

時 期	庁内検討	附属機関	アンケート ヒアリング	国（関係府省庁連 絡会議）
2019.1			新成人アンケート	
2019.2			小中学校PTA ヒアリング	第3回 成人式の 時期や在り方に 関する分科会
2019.3		社会教育委員の会議 (諮問)		
2019.4	関係課会議	調査対象・内容を協議 →		
2019.5			・ 業界団体（和 装・美容等） ・ 高校生，高校P T A，地域団体	随時開催 (意見聴取， 各自治体の 状況把握)
2019.6		↓		
社会教育委員改選（任期 H31. 7. 1～H33. 6. 30）				
2019.7	関係課会議	・ 生涯学習センター運 営審議会（協議） ・ 社会教育委員の会議 (協議)		
2019.8				
2019.9				
2019.10	関係課会議	・ 生涯学習センター運 営審議会（協議） ・ 社会教育委員の会議 (協議)		
2019.11				
2019.12	教育委員会【決定】	社会教育委員の会議 (答申)		
2020.1				
2020.2				
2020.3				↓
2020.4～				各自治体へ情報 提供

民法(成年年齢関係)改正 Q&A

Q1 どうして民法の成年年齢を18歳に引き下げるのですか？

A

我が国における成年年齢は、明治9年以来、20歳とされています。

近年、憲法改正国民投票の投票権年齢や、公職選挙法の選挙権年齢などが18歳と定められ、国政上の重要な事項の判断に関して、18歳、19歳の方を大人として扱うという政策が進められてきました。こうした政策を踏まえ、市民生活に関する基本法である民法においても、18歳以上の人を大人として取り扱うのが適当ではないかという議論がされるようになりました。世界的にも、成年年齢を18歳とするのが主流です。

成年年齢を18歳に引き下げることは、18歳、19歳の若者の自己決定権を尊重するものであり、その積極的な社会参加を促すことになると考えられます。



Q2 成年年齢は、いつから18歳になるのですか？

A

成年年齢を18歳に引き下げることを内容とする「民法の一部を改正する法律」は、2022年4月1日から施行されます。

2022年4月1日の時点で、18歳以上20歳未満の方(2002年4月2日生まれから2004年4月1日生まれまでの方)は、その日に成年に達することになります。

2004年4月2日生まれ以降の方は、18歳の誕生日に成年に達することになります。



Q3 成年年齢の引き下げによって、18歳で何ができるようになるのですか？

A

民法の成年年齢には、一人で有効な契約をすることができる年齢という意味と、父母の親権に服さなくなる年齢という意味があります。

成年年齢の引下げによって、18歳、19歳の方は、親の同意を得ずに、様々な契約をすることができるようになります。例えば、携帯電話を購入する、一人暮らしのためのアパートを借りる、クレジットカードを作成する(支払能力の審査の結果、クレジットカードの作成ができないことがあります。)、ローンを組んで自動車を購入する(返済能力を超えるローン契約と認められる場合、契約できないこともあります。)、といったことができるようになります。

なお、2022年4月1日より前に18歳、19歳の方が親の同意を得ずに締結した契約は、施行後も引き続き、取り消すことができます。

また、親権に服することがなくなる結果、自分の住む場所(居所)を自分の意思で決めたり、進学や就職などの進路決定についても、自分の意思で決めることができるようになります。もっとも、進路決定について、親や学校の先生の理解を得ることが大切なことに変わりはありません。

そのほか、10年有効パスポートの取得や、公認会計士や司法書士などの国家資格に基づく職業に就くこと(資格試験への合格等が必要です。)、性別の取扱いの変更審判を受けることなどについても、18歳でできるようになります。



Q4 お酒やたばこが解禁される年齢も18歳になるのですか？

A

民法の成年年齢が18歳に引き下げられても、お酒やたばこに関する年齢制限については、20歳のまま維持されます。また、公営競技(競馬、競輪、オートレース、モーターボート競走)の年齢制限についても、20歳のまま維持されます。

これらは、健康被害への懸念や、ギャンブル依存症対策などの観点から、従来の年齢を維持することとされています。



Q5 消費者被害の拡大が懸念されていますが、どのような対策をとるのですか？

A

民法では、未成年者が親の同意を得ずに契約した場合には、原則として、契約を取り消すことができるとされています(未成年者取消権)。未成年者取消権は未成年者を保護するためのものであり、未成年者の消費者被害を抑止する役割を果たしてきました。成年年齢を18歳に引き下げた場合には、18歳、19歳の方は、未成年者取消権を行使することができなくなるため、悪徳商法などによる消費者被害の拡大が懸念されています。

政府としては、小・中・高等学校等における消費者教育の充実(例:契約の重要性、消費者の権利と責任など)や、若者に多い消費者被害を救済するための消費者契約法の改正、全国共通の3桁の電話番号である消費者ホットライン188の周知や相談窓口の充実など、様々な環境整備の施策に取り組んできました。

今後も、「成年年齢引下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議」を開催して、政府全体で環境整備に取り組んでいきたいと考えています。



Q6 養育費はどうなるのですか？

A

子の養育費について、「子が成年に達するまで養育費を支払う」との取決めがされていることがあります。成年年齢が引き下げられた場合にこのような取決めがどうなるか心配になるかもしれませんが、取決めがされた時点では成年年齢が20歳であったことからしますと、成年年齢が引き下げられたとしても、従前どおり20歳まで養育費の支払義務を負うことになると考えられます。

また、養育費は、子が未成熟であって経済的に自立することを期待することができない場合に支払われるものなので、子が成年に達したとしても、経済的に未成熟である場合には、養育費を支払う義務を負うことになります。このため、成年年齢が引き下げられたからといって、養育費の支払期間が当然に「18歳に達するまで」ということになるわけではありません。例えば、子が大学に進学している場合には、大学を卒業するまで養育費の支払義務を負うことも多いと考えられます。

なお、今後、新たに養育費に関する取決めをする場合には、「22歳に達した後の3月まで」といった形で、明確に支払期間の終期を定めることが望ましいと考えられます。



Q7 どうして女性の婚姻開始年齢を18歳に引き上げるのですか？

A

現在、婚姻開始年齢(結婚ができるようになる年齢)に男女差が設けられているのは、男女間で心身の発達に差異があるためであるとされています。しかし、社会・経済の複雑化が進展した今日では、婚姻開始年齢の在り方に関しても、社会的、経済的な成熟度をより重視すべき状況になっています。そして、社会的・経済的な成熟度といった観点からは、男女間に特段の違いはないと考えられることから、婚姻開始年齢における男女の取扱いの差異を解消することにしたものです。

その上で、高校等進学率が98パーセントを超えていることなどからしますと、婚姻をするには、少なくとも18歳程度の社会的・経済的成熟が必要であると考え、女性の婚姻開始年齢を18歳に引き上げることとしたものです。

女性の婚姻開始年齢の引上げについても、2022年4月1日から施行されます。

なお、2022年4月1日の時点で既に16歳以上の女性は、引き続き、18歳未満でも結婚することができます。



Q8 成人式はどうなりますか？

A

成人式の時期や在り方に関しては、現在、法律による決まりはなく、各自治体の判断で実施されていますが、多くの自治体では、1月の成人の日前後に、20歳の方を対象に実施しています。

成年年齢が18歳に引き下げられた場合には、そもそも18歳の方を対象とするのか、高校3年生の1月という受験シーズンに実施するのか、2022年度は3学年分同時に実施するのかといった問題があると指摘されています。

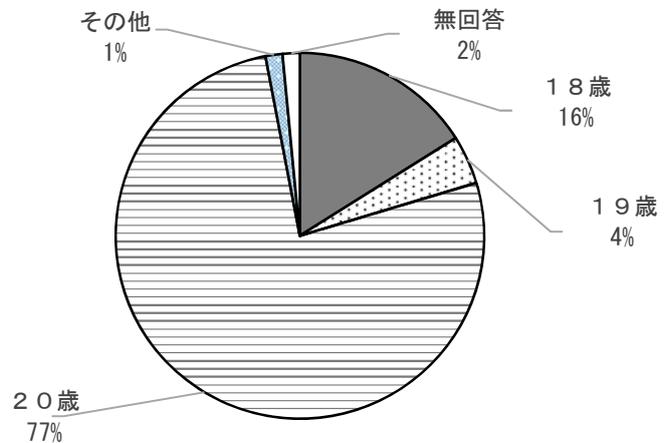
政府としては、成年年齢引下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議において、関係者の意見や各自治体の検討状況を取りまとめた上で情報発信し、各自治体がその実情に応じた対応をすることができるよう取り組んでいきたいと考えています。



◎新成人アンケート（H31.1.13 成人式参加者）

Q. 2022年4月から18歳で成人となりますが、あなたが一番成人式に出席しやすい年齢は何歳ですか？

	選択肢	回答	
1	18歳	149	16.0%
2	19歳	40	4.3%
3	20歳	713	76.7%
4	その他	14	1.5%
	無回答	14	1.5%
	合計	930	100.0%



◎市PTA連合会との意見交換（H31.2.18 実施）

＜主な意見＞

- ・ 受験生を抱える親としては、18歳での成人式は現実的でないと感じる。晴れ着などの準備まで、頭が回らない。
- ・ 18歳での開催とした場合、初年度は着物や美容院の関係などで大混乱が予想され、参加者にとって嫌な思い出になるのではないかと。落ち着いて20歳で開催されることが望ましい。
- ・ 公でやる以上、20歳で開催は、その意義をきちんと検討すべき。
- ・ 20歳で開催するとしても、18歳に対し、例えば中学校の立志式のような学校行事程度でもいいので、何らか意識啓発をする必要があるのではないかと。

◎国の意見聴取（「成年年齢引き下げを見据えた環境整備に向けた関係府省庁連絡会議」）

- ・ 日本きもの連盟
⇒ 教育的配慮や慣習から20歳を対象とすることがふさわしい。
- ・ 協同組合日本写真館協会
⇒ 教育的配慮や伝統文化の衰退が憂慮されるため20歳継続を希望。
- ・ 中央区新成人のつどい実行委員会OBOG会
⇒ 18歳・20歳それぞれにメリット・デメリットがある。
- ・ 京都市 子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部
⇒ 皆が落ち着いて参加できる20歳開催を国の基本方針とするよう検討してもらいたい。
- ・ 全日本美容業生活衛生共同組合連合会
⇒ 自覚をもって社会貢献できる20歳に行うことが望ましい。
- ・ 一般財団法人 全国高等学校PTA連合会
⇒ 年齢は20歳がよい。18歳は受験や家計負担などが課題。

18歳意識調査 「第7回 - 成人式 -」要約版

日本財団 2019年1月7日

目次

調査概要	3
成人式出席意向	5
成人式 出席意向理由	6
成人式 出席意向理由（男女別）	7
公式行事としての成人式は必要か	8
主催は自治体がふさわしいか	9
成人式の予算は税金がふさわしいか	10
成人式のあり方について	11
何歳で成人式を行うのがふさわしいか	12
成人式希望年齢 理由	13
新成人の騒ぐ気持ちがわかるか	14
成人式で騒いでみたいか	15
成人式で騒ぎたくない理由	16

調査概要「18歳意識調査」 - 成人式 -

調査対象 全国の17歳～19歳男女

回答数 800

※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	126	140	134	400
女性	126	140	134	400
計	252	280	268	800

調査除外

下記の関係者は調査から除外

印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2018年12月3日（月）～ 12月6日（木）

調査手法 インターネット調査

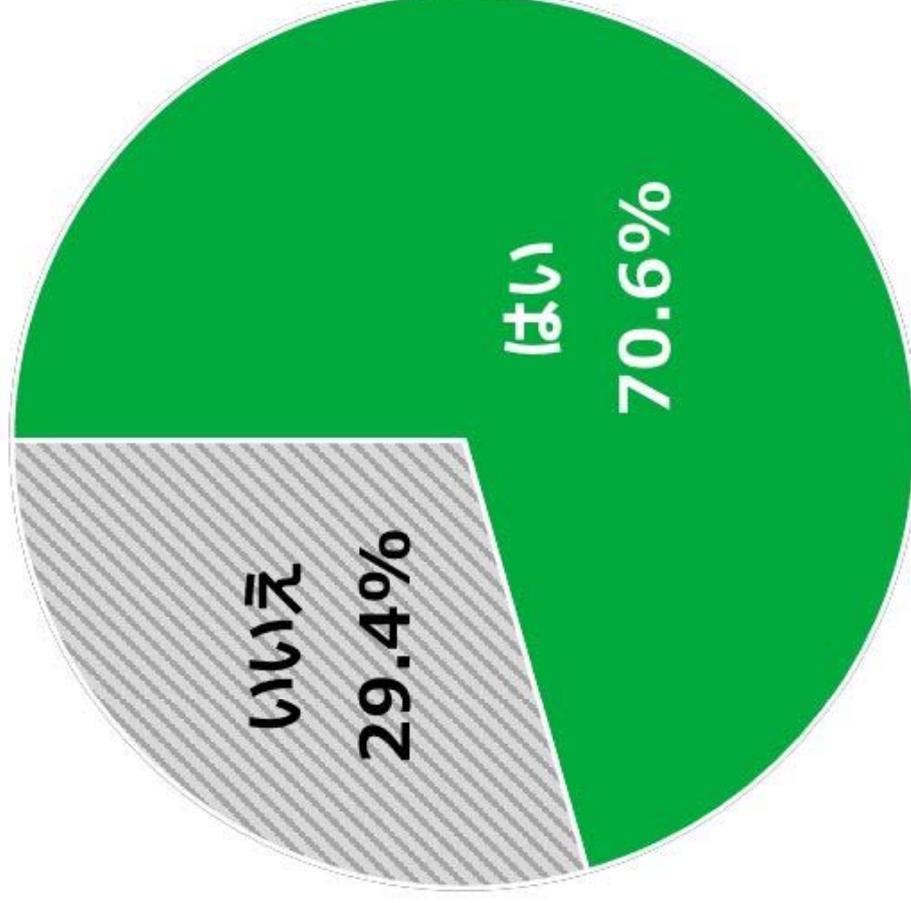
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

要約

成人式出席意向

全体の70.6%が、成人式に出席したいと回答

Q あなたは成人式に出席したいですか。(n=800)

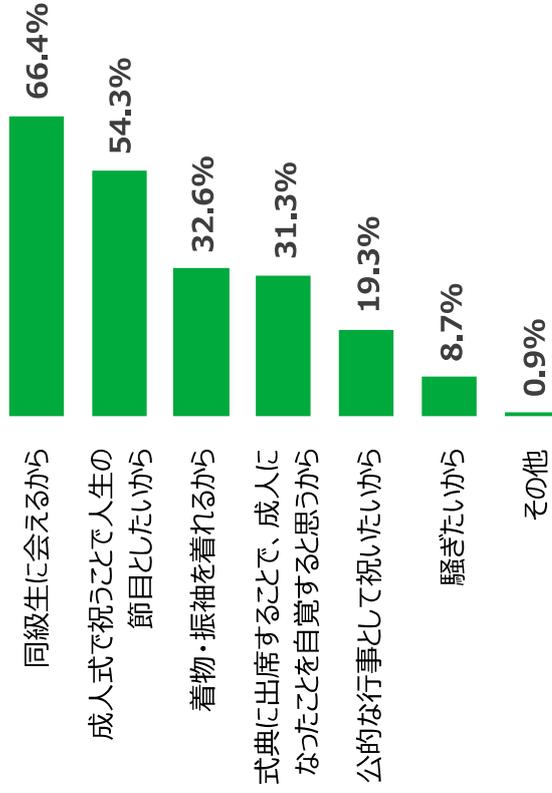


成人式 出席意向理由

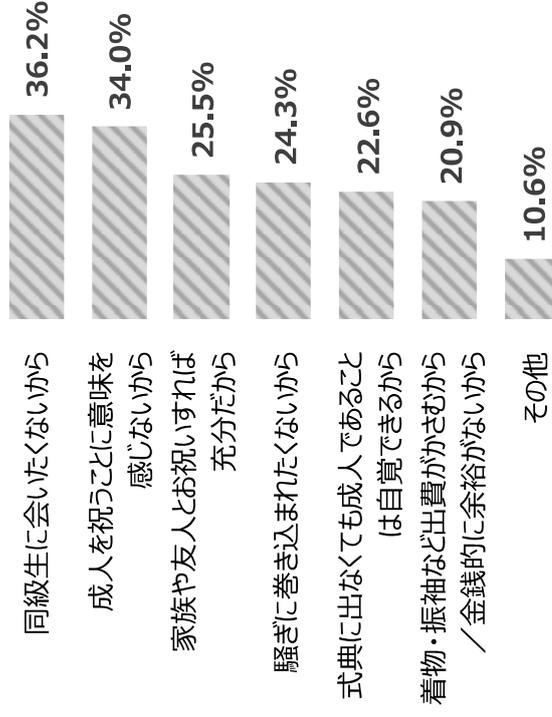
出席したい理由は、「同級生に会えるから」(66.4%)、「成人式で祝うことで人生の節目としたいから」(54.3%)、「着物・振袖を着れるから」(32.6%)

- 多くはないが、「騒ぎたいから」(8.7%=49名)という理由を挙げる人もいた。
- 出席したくない理由は、「同級生に会いたくないから」(36.2%)、「成人を祝うことに意味を感じないから」(34.0%)、「家族や友人とお祝いすれば十分だから」(25.5%)

Q では、成人式に「出席したい」と思うのはなぜですか。
(複数回答) (n=565)



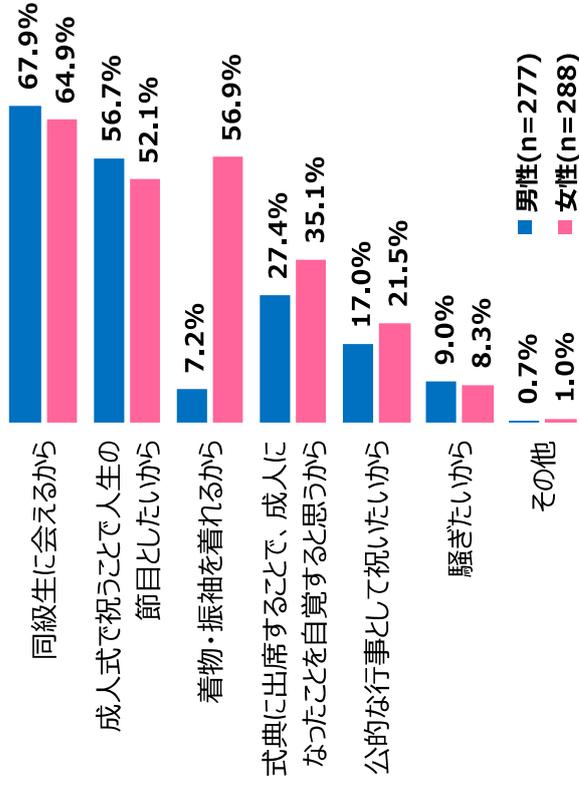
Q では、成人式に「出席したくない」と思うのはなぜですか。
(複数回答) (n=235)



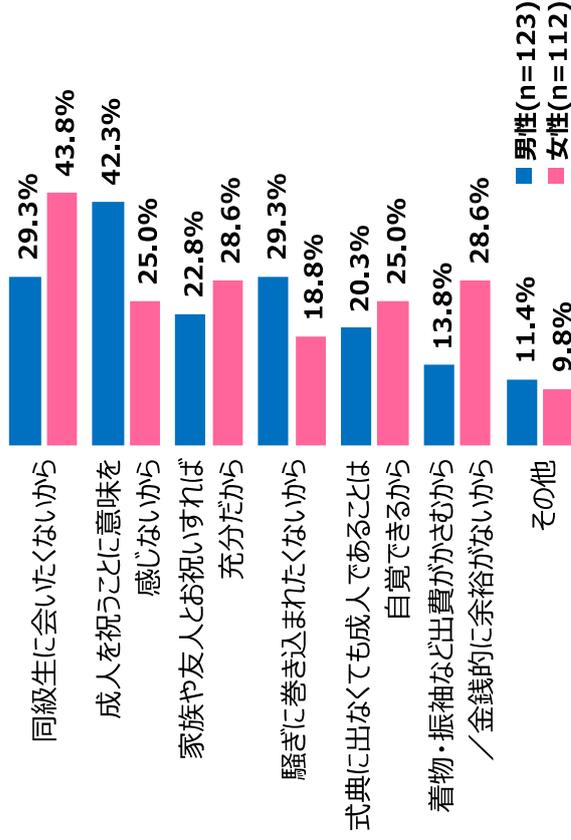
成人式 出席意向理由 (男女別)

出席したい理由を男女別にみると、女性では「同級生に会えるから」に次いで「着物・振袖を着れるから」(56.9%)を理由としてあげる人が多い
 出席したくない理由としても女性では「着物・振袖など出費がかさむから／金銭的に余裕がないから」(28.6%)が多く、女性にとって「成人式」＝「振袖を着る」という印象が強いことがうかがえる

Q では、成人式に「出席したい」と思うのはなぜですか。
 (複数回答)



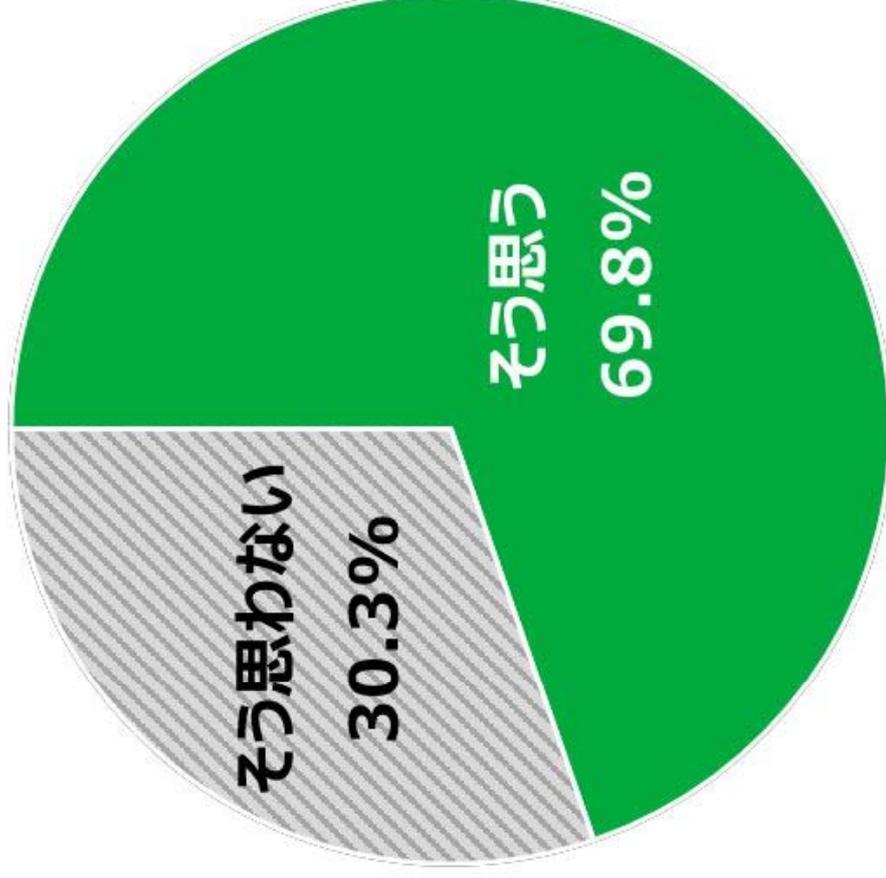
Q では、成人式に「出席したくない」と思うのはなぜですか。
 (複数回答)



公式行事としての成人式は必要か

全体の69.8%が、公式行事として必要と考えている

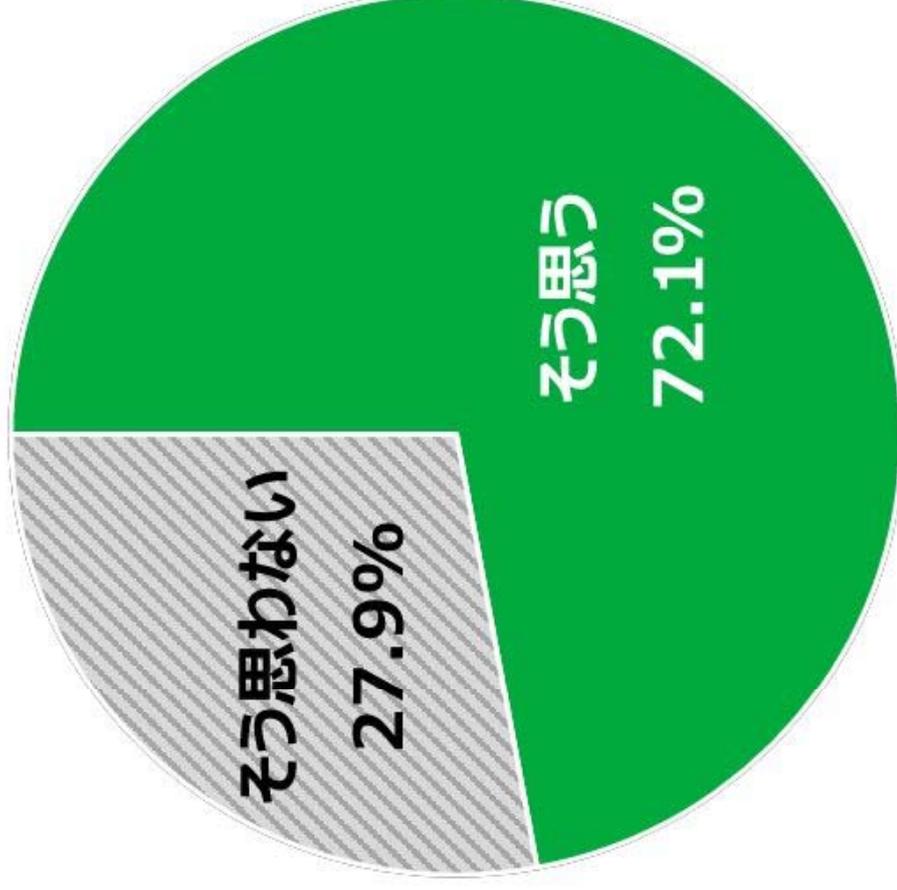
Q 以下の事柄について、お気持ちに近い方をそれぞれお答えください。／公式行事としての成人式は必要だ (n=800)



主権は自治体がふさわしいか

全体の72.1%が、成人式の主権は自治体がふさわしいと考えている

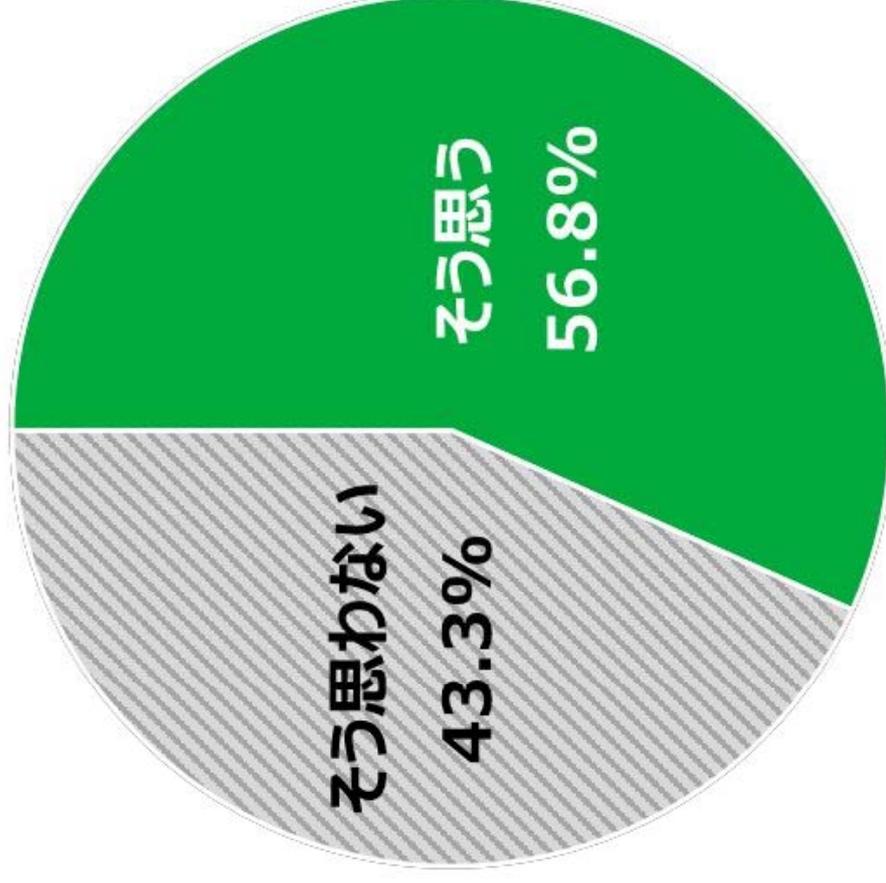
Q 以下の事柄について、お気持ちに近い方をそれぞれお答えください。／これまでどおり主権は自治体がふさわしい (n=800)



成人式の予算は税金がふさわしいか

成人式の予算は税金がふさわしいと考えている人は全体の56.8%

Q 以下の事柄について、お気持ちに近い方をそれぞれお答えください。／成人式の予算は税金がふさわしい (n=800)



成人式のあり方について

- ・ 成人式は「人生において大切な行事」「節目」「伝統行事」などの回答が多く、大切な行事として捉えられている。他、「成人になったことを自覚する場」、「同級生に会えるのが楽しみ」という内容の回答もみられた。
- ・ 一方、成人式で騒ぎが起ころことに対して否定的な意見も多く挙がった。また、「なくてもいい」「必要ない」「やりたい人だけやればいい」など、成人式自体に興味がない人も目立つ。

Q 前問でお答えになった理由を含め、成人式のあり方について、あなたの思うことをご自由にお答えください。（自由回答抜粋）

人生において大切な行事／節目／伝統行事

- ・ 次の節目としてとても大切な行事だと思います。（女性）
- ・ 人生において成人式は大切な行事であり、節目だと思うので、成人式は必要だと思う。主催や予算のことなどは私も含めあまり知らない人が多いので、そういう情報を拡散するのも大切だと思う。（女性）
- ・ 人生の節目として、成人式は必要な儀式であると思う。その点で、自治体が主催してくれば、確実に、安定して開催することが可能であるから、自治体主催の成人式は続けるべきであると思う。（女性）
- ・ 成人式という行事は良いものであるから、税金を使っても良いとは思っている。（男性）
- ・ 成人式は20歳を祝い、大人になっていくためにどのような必要があるのかを考える式ではないかと考える。同級生に会える嬉しいこともあるけど、1番はそれなのではないかと考える。（女性）
- ・ 成人式はみんなひとつの節目として出席するべきだと思う。（女性）
- ・ 成人式は伝統的な文化であって、これからも必要だと思う。（男性）
- ・ 日本の伝統行事であり、人としての通過儀式である。（男性）
- ・ 日本の伝統的な衣装である振袖を着る機会が、成人式以外にそうないと思うし、人生の1つの区切りとしても行った方が良く思う。（女性）

成人になったことを自覚する場

- ・ これから1人の大人としての自立心を奮い立たせるきっかけとなるのが成人式なんじゃないかなと思う。（女性）
- ・ 成人としての自覚を持つ機会。（女性）
- ・ 成人になったことを自覚すると同時に祝う日でもあるので、成人式は重要であると思う。（女性）
- ・ 成人式を行うことで「成人」になったと身をもって体感でき、成人としての自覚と責任が持てるようになると思う。（女性）

同級生に会えるのが楽しみ

- ・ しばらくあってなかった友達などにも会えるので必要だと考える。（男性）
- ・ 成人式には同級生に会いたいという気持ちが強いです。成人式に出ることで成長した自分を周りに見てもらいたいという気持ちがあると思います。（男性）
- ・ 同級生に会えたり、20歳になったことを祝ってもらえるのは嬉しいので、成人式は参加したい。振袖にはみんなの個性が出るので楽しみ。（女性）

【成人式のあり方について「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

騒ぎが起ころことについての否定的な意見

- ・ お酒飲んで騒ぎすぎると人が増えるからならいいと思う。成人として恥ずかしさをさらすための式ではないので。（女性）
- ・ しっかりと成人することを祝う行事なのでしっかりと成人ということを自覚した振る舞いを心がけて欲しい。（男性）
- ・ ちゃんとした態度で出られる人だけでほしい。騒いで問題起こす人達にはでてほしくない。（男性）
- ・ 社会を担う1人として、それまでに関わってくれた人達への感謝を表す場所であるべきだと思うので、又ナーを守って楽しむべきだと思う。（女性）
- ・ 成人式とは、ただ馬鹿みたいに騒ぐためにあるものではないし、ちゃんとした一人の大人として初めて認められるものでもあると思います。（男性）
- ・ 入学式や卒業式などのようなしっかりと式にするならば開催しても良いと思うが、頭の悪い人がいるための式ならば即辞めるべきだと思う。（女性）
- ・ 暴動事件などが毎回の如く起きているのにそれを防ぐことが出来ていないにもかかわらず懲りずにするのが解らない。いっその暴動を起こしたら3年間は刑務所に入れとけばいい。（男性）
- ・ 毎年問題が起こるのにそれを税金でまかなってやるのは、どうなんだろう、と思う。自治体がやるならもっと別のところからお金を持ってきてほしいのではないだろうか。（女性）

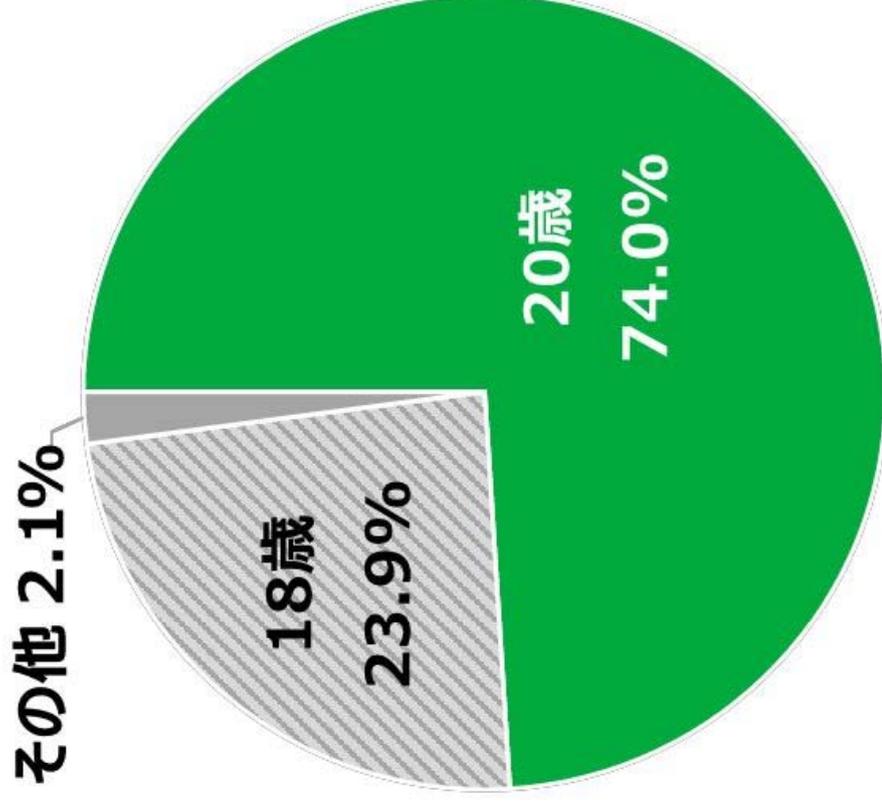
なくてもいい／必要ない／やりたい人だけやればいい

- ・ わざわざ式を開く必要はないと思う。（女性）
- ・ 成人式に行かなくてもいいからいい風潮をなくしてほしい。正直言って面倒くさい。（女性）
- ・ 成人式は別に必要ないと思った。まずなんで成人式をやることが分からない。予算はなんで税金なので悪い。そんなことに使うならもっと人のためにならざるようところで使う方がいいと思った。（女性）
- ・ 問題が発生したりする時があるため、成人式自体無くてもいいと思う。（男性）
- ・ やりたい人はやればいいし、やりたくない人はやらなきゃいい。（女性）
- ・ 儀式的なもので伝統であるという点も理解できるが、出席したい人が出席すればいいと思う。わざわざ出席を義務化するような社会的な意識には疑問を感じる。（男性）
- ・ 不登校の人も増えていっているし、私も実際そうだったので、成人式に参加するのが当たり前みたいな考えはやめた方がいいと思う。（女性）

何歳で成人式を行うのがふさわしいか

成人式を行うのにふさわしい年齢は「20歳」が74.0%、「18歳」は23.9%となり、これまで通りの「20歳」が圧倒的に多い

Q 2022年から民法改正により、成人年齢が18歳に引き下げられます。それに伴い、成人式の実施年齢について議論があります。何歳で成人式を行うのがふさわしいと思いますか。(n=800)

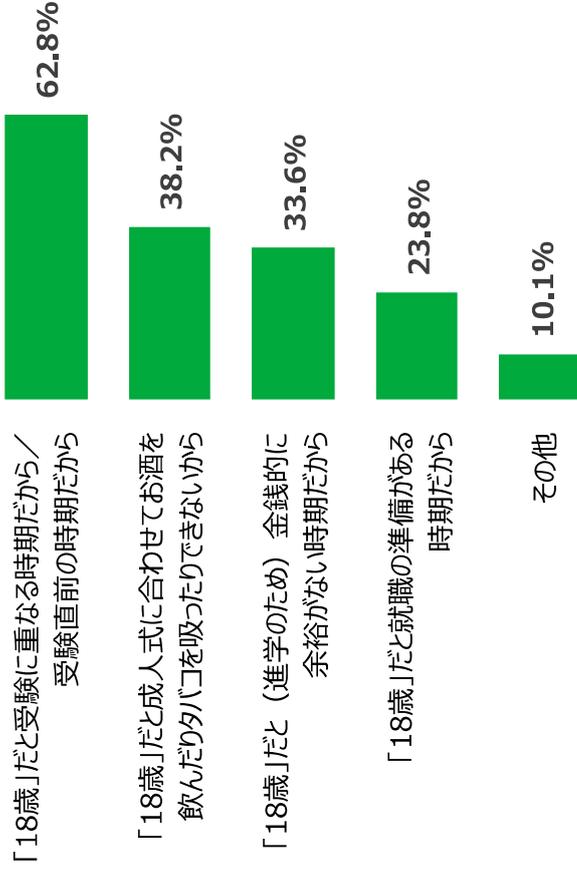


成人式希望年齢 理由

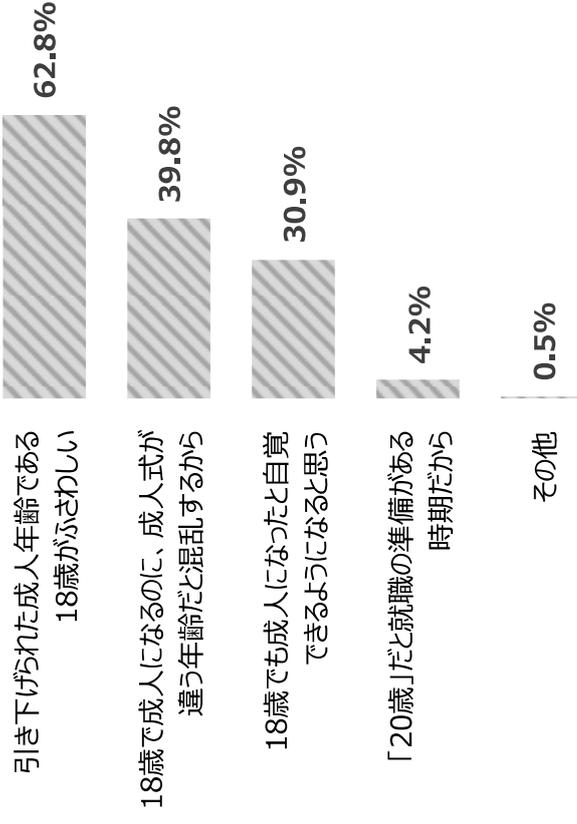
「20歳」の理由は、「『18歳』だと受験に重なる時期だから／受験直前の時期だから」(62.8%)が最多

- 次いで、「『18歳』だと成人式に合わせてお酒を飲んだりタバコを吸ったりできないから」(38.2%)が多い。
- **「18歳」の理由は、「引き下げられた成人年齢である18歳がふさわしい」(62.8%)が最多**
- 次いで、「18歳で成人になるのに、成人式が違う年齢だと混乱するから」(39.8%)が多い。

Q では、成人式の実施年齢を「20歳」と希望されたのはなぜですか。(複数回答) (n=592)



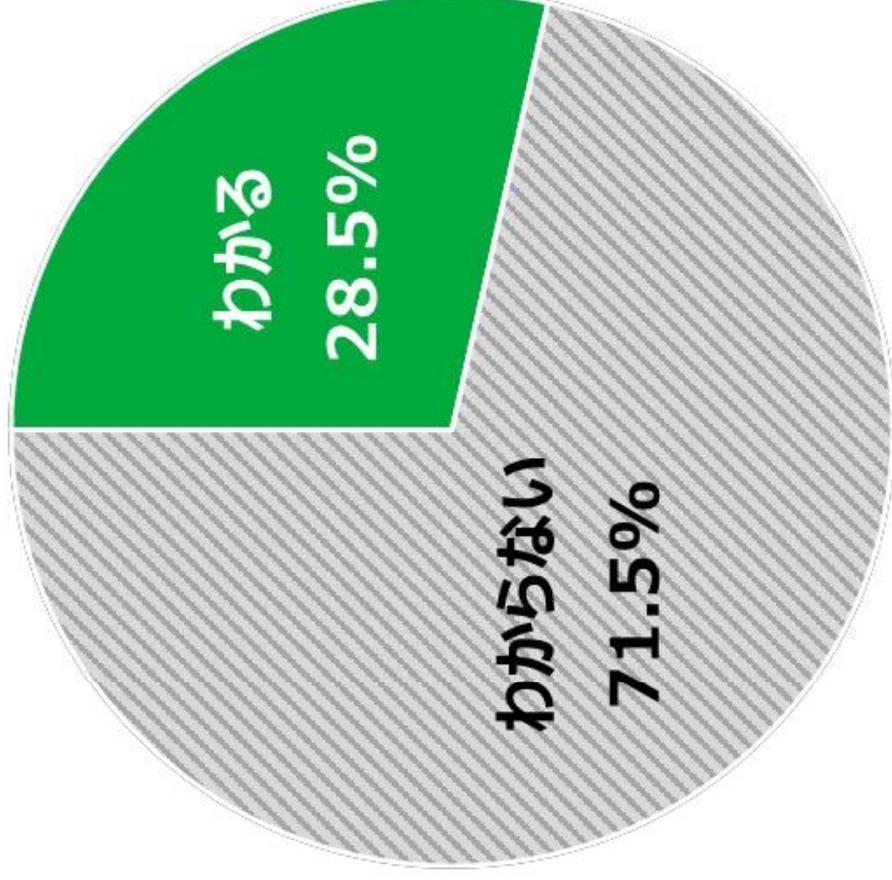
Q では、成人式の実施年齢を「18歳」と希望されたのはなぜですか。(複数回答) (n=191)



新成人の騒ぐ気持ちがかかるか

全体の28.5%が新成人の騒ぐ気持ちが「わかる」と回答

Q 例年、メディアでは成人式で騒ぎを起こす新成人のニュースが映し出されます。あなたは、このような新成人が騒ぐ気持ちがかかりますか。(n=800)

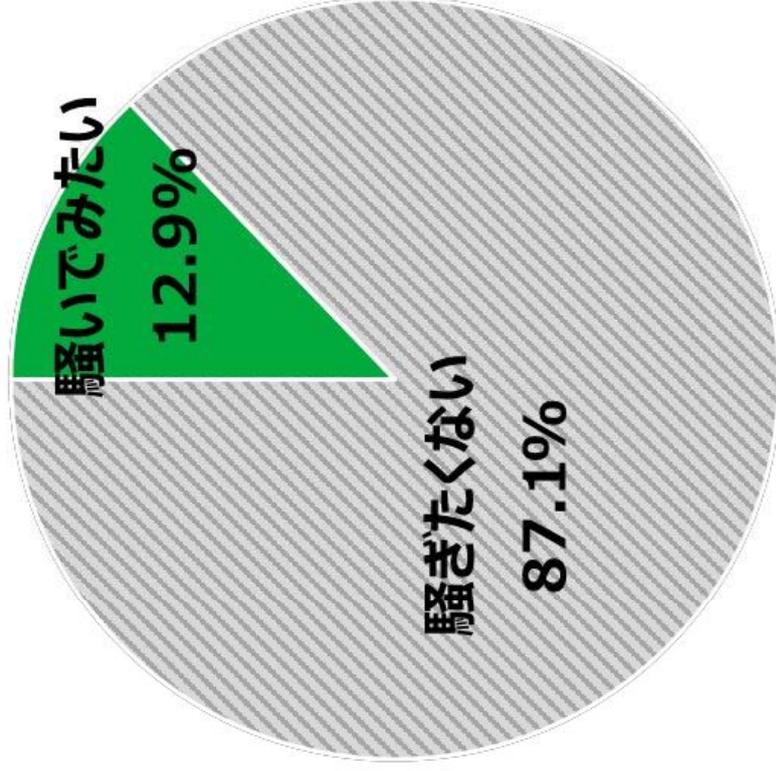


成人式で騒いでみたいか

全体の12.9%が「騒いでみたい」と回答

- ・ 騒いでみたい理由としては、「はじけられるのは成人式が最初で最後」「大人になったら騒げない」などの回答が挙がり、これから成人になるからこそ最後に騒ぎたいという気持ちが垣間見れた。他、「20歳になった記念だから」「祝いな事だから」、「久しぶりに会って舞い上がっているから」「同級生にあつたら絶対テンションあがるから」というような回答も目立った。

Q あなたも実際に成人式で騒いでみたいと思いますか。(n=800)



「騒いでみたい」選択理由 (自由回答抜粋)

- ・ 1日くらい羽目を外したいから。(男性)
- ・ 20歳になった記念だから騒いでみたい (女性)
- ・ はじけられるのは成人式が最初で最後ぐらいかなと思うから。(女性)
- ・ もうこれから先、そのような事が出来なくなる年であり節目であるから。(男性)
- ・ もう大人になったら騒げないから (男性)
- ・ 外から見たらバカ集団だなと思うけど、実際自分になるとさうなと思うから (女性)
- ・ 楽しい嬉しい祝いな事だから (女性)
- ・ 楽しそうだから (男性)
- ・ 久しぶりに会って舞い上がっているから (女性)
- ・ 久しぶりに同級生にあつたら絶対テンションあがるから。学生の頃バカやっていた気持ちに1日ぐらい戻ってみたいと思う。限度はあるけど。(男性)
- ・ 限度はあるか軽くはお酒を飲んで盛り上がりたい (男性)
- ・ 今まで会えなかった友達とかに会えるし、今まで以上に盛り上げられると思うから。(女性)
- ・ 成人する節目の日に後悔のないようにしたい。ただ公の場で騒ぐというよりは身内で騒ぎたいと思っている。(男性)
- ・ 騒いでみたいというか、迷惑にならない程度にはしゃぎたい (女性)
- ・ 大人になる日でもあるが、子供最後の日でもあると思うから最後に暴れておきたい。(女性)
- ・ 同級生とお酒が飲める (女性)

成人式で騒ぎたたくない理由

成人式で騒ぎたたくない理由としては「周りの迷惑になる」という回答が最も目立った

- ・ 他、「成人として自覚がない」、「成人としてふさわしくない」、「恥ずかしい」、「バカみたい」、「みっともない」、「かっこ悪い」など。

「騒ぎたたくない」回答者理由（自由回答抜粋）

周りの迷惑になる

- ・ なせ騒がないといけないかわからない。成人式は大人への第一歩を迎えるための式であるのに、なぜその人たちが騒いで周囲に迷惑をかけるのかが理解できない。(女性)
- ・ 羽目を外しすぎるのは全くもって良くないとおもいます。社会に迷惑をかけることを私はしたくありません。(女性)
- ・ 警察に捕まりたくないし、人に迷惑をかけたくない。(男性)
- ・ 元々の自分の性格上というのがありますが、渋谷のハロウィンみたいなものです。騒ぐのは自由だけど人に迷惑をかけるような、ニュースにされてしまうような、行き過ぎた騒ぎを大人のひとつの節目である成人式で行うのは恥だとする。(女性)
- ・ 周りの人に迷惑がかかるから。モラルのない成人だと思われたいから。(女性)
- ・ 周りの人に迷惑がかかり、毎年行われる成人式のイメージがダウンしてしまつから。(女性)
- ・ 人に迷惑をかけるのは手本とする大人がすることではないし、成長を感じようという成人式なのにそれが台無しであるから。(女性)
- ・ 騒ぎ過ぎて周りに迷惑をかけるような馬鹿になりたくないから。(男性)
- ・ 他人の迷惑になる行為をして楽しむとは思えないから。(男性)
- ・ 大人になるなら人の迷惑になる行為にも責任を持つべきだから。(男性)

成人として自覚がない／成人としてふさわしくない

- ・ まだ成人としての自覚と人間性が無いのではないかと思うから。(女性)
- ・ 自分が大人になつたという式だから大人らしい嗜みをしたいと思うし、周りにもそういう自分を見せたいと思う。(男性)
- ・ 式典で騒ぐ行為自体が自らが精神的に成長していないことを立証しているため。(男性)
- ・ 成人としてありえない、素年齢と精神年齢が伴っていない。(女性)
- ・ 成人として相応しくないから。(男性)
- ・ 成人式は大人になつたことを自覚するための式典であるため、ただのお祝いのために執り行う物ではないと感じるから。(女性)
- ・ 大人の仲間入りをした日に騒ぐのはどうかと思うから。一大人として常識的な行動をとるべきだ。(女性)
- ・ 幼稚だと思うから。(男性)

【成人式で騒ぎたい・騒ぎたくない理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載

https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

恥ずかしい

- ・ バカ騒ぎして周りに迷惑をかけて何が楽しいのかわからない。今の日本の恥でしかない。若者全体がそういう目で見られたくない。(男性)
- ・ みんながどういふふうか思われたい。20歳になつてまではずかしい。(女性)
- ・ もう大人と言われる年齢に達しているわけなので、騒ぐのは恥ずかしい事だと思う。そもそも騒いで何をしたいか理解出来ない。(女性)
- ・ 公の場で恥を晒す意味がわからない。(男性)
- ・ 人として成人未成年に問わず恥ずかしい情けない。(女性)
- ・ 成人という大人になつたと証明する場所で、自分はまだ子どもだと言っているようなものだと思うし、恥ずかしいから。(女性)
- ・ 成人式を迎えたのに精神年齢が低い。つまりでも成長しない人は恥ずかしいから。(女性)
- ・ 大人になつたのに悪目立ちしてニュースになるのが恥ずかしいし、就職に影響が出るかもしれないから。(女性)

バカみたい

- ・ 20歳にもなつてアホなことをやっているのと軽蔑の目で見られたくないから。(女性)
- ・ なぜ成人式でバカ騒ぎするかの理解できないから。(女性)
- ・ 騒ぐ奴はただの馬鹿だから。(男性)
- ・ 成人式で騒いで逮捕されるのはアホらしい。(男性)
- ・ 成人式に臨むでもその目的を間違えているので、そんなアホみたいなのは絶対になりたくないになる予定もないから。(女性)
- ・ 騒ぐ意味がわからない、成人式の本質についてわからない人は成人になる資格は全くない、バカのこと、非常に鬱陶しいし、そのような行動をする意味もわからないし必要性も全く感じられない。(男性)
- ・ 大人の仲間入りということで羽目を外したくなるのは分かるが、自分の軽率な行動で自分の世代が馬鹿だと思われたくない。(女性)

みっともない／かっこ悪い

- ・ かっこ悪い。悪目立ち。(女性)
- ・ そういったことは飲み会の場ですればいいと思うし、大勢の人の前で騒ぐのはみっともないと思うから。(女性)
- ・ たさい。(男性)
- ・ はしたない。(女性)
- ・ 品がない。意識が低い。(男性)

平成 3 1 (2 0 1 9) 年度宇都宮市立小・中学校の「土曜授業」実施予定日一覧

○各学校の実施日は予定であり、今後変更になる場合があります。

月	日	小学校名	中学校名
4	13		河内中
	20		陽西中, 星が丘中, 泉が丘中, 宮の原中, 清原中, 横川中, 国本中, 姿川中, 鬼怒中, 宝木中, 上河内中
6	1	清原北小, 富屋小, 海道小	
	8	緑が丘小, 国本西小	
	15	昭和小, 篠井小, 姿川第二小	
	22	宝木小, 平石北小, 清原南小, 清原東小, 国本中央小, 岡本北小	
	29	錦小, 峰小, 城東小, 晃宝小	
7	6	中央小, 築瀬小, 今泉小, 上河内東小, 岡本小, 田原小	
8	31		陽東中, 宮の原中, 国本中
9	7	西小, 富士見小	
10	5		一条中, 清原中, 城山中
	19	東小, 細谷小	
	26	西小	陽東中
11	9	石井小, 明保小	泉が丘中
	16		全市一斉実施日(中学校)
12	7	全市一斉実施日(小学校)	

下記の関係団体等には、市所管課を通じて実施予定日を周知いたします。

関係団体等	市所管課
地域まちづくり組織, 自治会連合会	みんなでまちづくり課
交通指導員連絡協議会	生活安心課
青少年育成市民会議	子ども未来課
公立保育園園長会, 民間保育園園長会	保 育 課
私立公立学校連絡会 (私立中・高校, 宇大附属小・中学校)	教育企画課
P T A 連合会, 子ども会連合会, 青少年指導員	生涯学習課
文化協会	文 化 課
体育協会, スポーツ少年団, スポーツ推進委員	スポーツ振興課

※ 栃木県幼稚園連合会及び栃木県体育協会につきましては、学校教育課より周知いたします。